

島根原子力発電所保安規定審査資料	
資料番号	保-04 (改06)
提出年月日	2023年11月22日

島根原子力発電所2号炉

原子炉施設保安規定変更に係る説明資料

(先行BWRプラントとの比較表)

【65-13-1 抜粋】

2023年11月
中国電力株式会社

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）	柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）	島根原子力発電所 2号炉	備考																		
<p>表66-13 計装設備</p> <p>66-13-1 主要パラメータおよび代替パラメータ</p> <p>(1) 運転上の制限</p> <table border="1" data-bbox="430 2033 661 2819"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>運転上の制限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>1チャンネル以上を計測する計器が1チャンネル以上動作可能であること※1※3</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td>主要パラメータの推定が可能であること※1※2※3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：プラント起動に伴う計器校正、原子炉水圧検査および格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合ならびに計器イベント等の計器隔離時は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。</p> <p>※2：代替パラメータに記載する番号は優先順位であり、推定方法が複数あることを示す。</p> <p>なお、推定方法が複数ある場合は、いずれかの方法で推定できれば運転上の制限を満足していないとはみなさない。</p> <p>※3：主要パラメータおよび代替パラメータに記載する[]は、有効監視パラメータまたは重要監視パラメータの常用計器（耐震性または耐環境性等はないが、監視可能であれば原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。運転上の制限は適用しないが、要求される措置で代替パラメータとして確認することができ。</p>	項目	運転上の制限	主要パラメータ	1チャンネル以上を計測する計器が1チャンネル以上動作可能であること※1※3	代替パラメータ	主要パラメータの推定が可能であること※1※2※3	<p>表66-13 計装設備</p> <p>66-13-1 主要パラメータ及び代替パラメータ</p> <p>(1) 運転上の制限</p> <table border="1" data-bbox="430 1243 661 2033"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>運転上の制限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>1チャンネル以上が監視可能であること※1※3</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td>主要パラメータの推定が可能であること※1※2※3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：プラント起動に伴う計器校正、原子炉水圧検査及び原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合並びに計器イベント等の計器校正時は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。</p> <p>※2：代替パラメータに記載する番号は優先順位であり、推定方法が複数あることを示す。</p> <p>なお、推定方法が複数ある場合は、いずれかの方法で推定できれば運転上の制限を満足していないとはみなさない。</p> <p>※3：主要パラメータ及び代替パラメータに記載する[]は、有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（耐震性又は耐環境性等はないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。運転上の制限は適用しないが、要求される措置で代替パラメータとして確認することができ。</p>	項目	運転上の制限	主要パラメータ	1チャンネル以上が監視可能であること※1※3	代替パラメータ	主要パラメータの推定が可能であること※1※2※3	<p>表65-13 計装設備</p> <p>65-13-1 主要パラメータおよび代替パラメータ</p> <p>(1) 運転上の制限</p> <table border="1" data-bbox="430 157 661 1243"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>運転上の制限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要パラメータ</td> <td>1チャンネル以上が監視可能であること※1※3</td> </tr> <tr> <td>代替パラメータ</td> <td>主要パラメータの推定が可能であること※1※2※3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：プラント起動に伴う計器校正、原子炉水圧検査および格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合ならびに計器イベント等の計器校正時は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。</p> <p>※2：代替パラメータに記載する番号は優先順位であり、推定方法が複数あることを示す。</p> <p>なお、推定方法が複数ある場合は、いずれかの方法で推定できれば運転上の制限を満足していないとはみなさない。</p> <p>※3：主要パラメータおよび代替パラメータに記載する[]は、有効監視パラメータまたは重要監視パラメータの常用計器（耐震性または耐環境性等はないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器）を示す。運転上の制限は適用しないが、要求される措置で代替パラメータとして確認することができ。</p>	項目	運転上の制限	主要パラメータ	1チャンネル以上が監視可能であること※1※3	代替パラメータ	主要パラメータの推定が可能であること※1※2※3	<p>TS-25 65-13-1 主要パラメータおよび代替パラメータ</p> <p>TS-26 重大事故等対処設備に関わるサーベイランスの実施方法および確認について</p>
項目	運転上の制限																				
主要パラメータ	1チャンネル以上を計測する計器が1チャンネル以上動作可能であること※1※3																				
代替パラメータ	主要パラメータの推定が可能であること※1※2※3																				
項目	運転上の制限																				
主要パラメータ	1チャンネル以上が監視可能であること※1※3																				
代替パラメータ	主要パラメータの推定が可能であること※1※2※3																				
項目	運転上の制限																				
主要パラメータ	1チャンネル以上が監視可能であること※1※3																				
代替パラメータ	主要パラメータの推定が可能であること※1※2※3																				

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）			柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）			島根原子力発電所 2号炉			備考
1. 原子炉圧力容器内の温度									
適用される原子炉の状態	主要パラメータ	代替パラメータ		主要パラメータ	代替パラメータ		主要パラメータ	代替パラメータ	
	要素	要素	要素	要素	要素	要素	要素	要素	推定方法
運転 起動 高温停止 冷温停止 燃料交換 ※4	原子炉圧力容器温度	原子炉圧力容器温度の1つの検出器が故障した場合は、他の検出器により推定する。	原子炉圧力容器温度の1つの検出器が故障した場合は、他の検出器により推定する。	原子炉圧力容器温度	原子炉圧力容器温度の1つの検出器が故障した場合は、他の検出器により推定する。	原子炉圧力容器温度	原子炉圧力容器温度	①主要パラメータの他チャンネルにより推定する。	原子炉圧力容器温度(SA)の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。
	原子炉圧力容器温度	原子炉圧力容器温度の1つの検出器が故障した場合は、他の検出器により推定する。	原子炉圧力容器温度の1つの検出器が故障した場合は、他の検出器により推定する。	原子炉圧力容器温度	原子炉圧力容器温度の1つの検出器が故障した場合は、他の検出器により推定する。	原子炉圧力容器温度	原子炉圧力容器温度	②原子炉圧力 ②原子炉圧力(SA) ②原子炉水位(広帯域) ②原子炉水位(燃料域) ②原子炉水位(SA) ②原子炉水位(SA)燃料域)	飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の温度を推定する。
残留熱除去系が運転状態であれば、残留熱除去系熱交換器入口温度により推定する。	残留熱除去系が運転状態であれば、残留熱除去系熱交換器入口温度により推定する。	残留熱除去系が運転状態であれば、残留熱除去系熱交換器入口温度により推定する。	残留熱除去系が運転状態であれば、残留熱除去系熱交換器入口温度により推定する。	残留熱除去系が運転状態であれば、残留熱除去系熱交換器入口温度により推定する。	残留熱除去系が運転状態であれば、残留熱除去系熱交換器入口温度により推定する。	残留熱除去系が運転状態であれば、残留熱除去系熱交換器入口温度により推定する。	残留熱除去系が運転状態であれば、残留熱除去系熱交換器入口温度により推定する。	③残留熱除去系熱交換器入口温度	残留熱除去系が運転状態であれば、残留熱除去系熱交換器入口温度により推定する。
	残留熱除去系が運転状態であれば、残留熱除去系熱交換器入口温度により推定する。	残留熱除去系が運転状態であれば、残留熱除去系熱交換器入口温度により推定する。	残留熱除去系が運転状態であれば、残留熱除去系熱交換器入口温度により推定する。	残留熱除去系が運転状態であれば、残留熱除去系熱交換器入口温度により推定する。	残留熱除去系が運転状態であれば、残留熱除去系熱交換器入口温度により推定する。	残留熱除去系が運転状態であれば、残留熱除去系熱交換器入口温度により推定する。	残留熱除去系が運転状態であれば、残留熱除去系熱交換器入口温度により推定する。	③残留熱除去系熱交換器入口温度	残留熱除去系が運転状態であれば、残留熱除去系熱交換器入口温度により推定する。
※4：原子炉が次に示す状態となった場合は適用しない。 (1) 原子炉水位がオーバーフロー水位付近で、かつプールのゲートが開の場合 (2) 原子炉内から全燃料が取出され、かつプールのゲートが閉の場合									
※4：原子炉が次に示す状態となった場合は適用しない。 (1) 原子炉水位がオーバーフロー水位付近で、かつプールのゲートが開の場合 (2) 原子炉内から全燃料が取出され、かつプールのゲートが閉の場合									
※4：原子炉が次に示す状態となった場合は適用しない。 (1) 原子炉水位がオーバーフロー水位付近で、かつプールのゲートが開の場合 (2) 原子炉内から全燃料が取出され、かつプールのゲートが閉の場合									

【女川との相違】

- ・女川は、島根および柏崎の「原子炉水位(SA)」に対して、計測範囲の異なる2つパラメータ「原子炉水位(SA広帯域)および原子炉水位(SA燃料域)」を設定している。以下、同じ差異理由は記載を省略。

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記録整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）			柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）			島根原子力発電所 2号炉			備考
2. 原子炉圧力容器内の圧力			2. 原子炉圧力容器内の圧力			2. 原子炉圧力容器内の圧力			
適用される原子炉の状態	主要パラメータ	代替パラメータ	適用される原子炉の状態	主要パラメータ	代替パラメータ	適用される原子炉の状態	主要パラメータ	代替パラメータ	
	要素	要素		要素	要素		要素	要素	
運転 起動 高温停止 冷温停止	原子炉圧力	①主要パラメータ の他チヤンネル の他チヤンネル による。	原子炉圧力	①主要パラメータ の他チヤンネル による。	原子炉圧力の1チ ヤンネルが故障し た場合は、他チヤ ンネルにより推定 する。	原子炉圧力	①主要パラメータ の他チヤンネル による。	原子炉圧力の1チ ヤンネルが故障し た場合は、他チヤ ンネルにより推定 する。	
	原子炉圧力 (SA)	②原子炉圧力 (SA) A)	原子炉圧力 (SA)	②原子炉圧力 (SA) A)	原子炉圧力 (SA) により推定する。	原子炉圧力 (SA)	②原子炉圧力 (SA) A)	原子炉圧力 (SA) により推定する。	
	原子炉圧力 (S)	③原子炉水位 (広 帯域) ③原子炉水位 (燃 料域) ③原子炉水位 (S A広帯域) ③原子炉水位 (S A燃料域) ③原子炉圧力容器 温度	③原子炉水位から原 子炉圧力容器内が 飽和状態にあると 想定することで、 原子炉圧力容器温 度より飽和温度/ 圧力の関係を利用 して原子炉圧力容 器内の圧力を推定 する。 原子炉圧力 (SA) の1チヤンネルが 故障した場合は、 他チヤンネルによ り推定する。	③原子炉水位 (広 帯域) ③原子炉水位 (燃 料域) ③原子炉水位 (SA) 温度	飽和温度/圧力の 関係を利用して原 子炉圧力容器内の 圧力を推定する。	飽和温度/圧力の 関係を利用して原 子炉圧力容器内の 圧力を推定する。	飽和温度/圧力の 関係を利用して原 子炉圧力容器内の 圧力を推定する。	飽和温度/圧力の 関係を利用して原 子炉圧力容器内の 圧力を推定する。	
運転 起動 高温停止 冷温停止	原子炉圧力 (SA)	③原子炉水位 (広 帯域) ③原子炉水位 (燃 料域) ③原子炉水位 (S A広帯域) ③原子炉水位 (S A燃料域) ③原子炉圧力容器 温度	原子炉圧力 (SA)	③原子炉水位 (広 帯域) ③原子炉水位 (燃 料域) ③原子炉水位 (SA) 温度	原子炉圧力 (SA) により推定する。 原子炉圧力により 推定する。	原子炉圧力 (SA)	③原子炉水位 (広 帯域) ③原子炉水位 (燃 料域) ③原子炉水位 (S A広帯域) ③原子炉水位 (S A燃料域) ③原子炉圧力容器 温度	原子炉圧力 (SA) により推定する。 原子炉圧力により 推定する。	
	原子炉圧力 (S)	③原子炉水位 (広 帯域) ③原子炉水位 (燃 料域) ③原子炉水位 (S A広帯域) ③原子炉水位 (S A燃料域) ③原子炉圧力容器 温度	原子炉圧力 (SA)	③原子炉水位 (広 帯域) ③原子炉水位 (燃 料域) ③原子炉水位 (SA) 温度	原子炉圧力 (SA) により推定する。 原子炉圧力により 推定する。	原子炉圧力 (SA)	③原子炉水位 (広 帯域) ③原子炉水位 (燃 料域) ③原子炉水位 (S A広帯域) ③原子炉水位 (S A燃料域) ③原子炉圧力容器 温度	原子炉圧力 (SA) により推定する。 原子炉圧力により 推定する。	
	原子炉圧力 (S)	③原子炉水位 (広 帯域) ③原子炉水位 (燃 料域) ③原子炉水位 (S A広帯域) ③原子炉水位 (S A燃料域) ③原子炉圧力容器 温度	原子炉圧力 (SA)	③原子炉水位 (広 帯域) ③原子炉水位 (燃 料域) ③原子炉水位 (SA) 温度	原子炉圧力 (SA) により推定する。 原子炉圧力により 推定する。	原子炉圧力 (SA) により推定する。 原子炉圧力により 推定する。	原子炉圧力 (SA) により推定する。 原子炉圧力により 推定する。	原子炉圧力 (SA) により推定する。 原子炉圧力により 推定する。	

【女川との相違】
 ・女川は、主要パラメ
 ータの検出器を複数
 設置しており他チヤ
 ンネルを代替パラメ
 ータとして記載

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
3. 原子炉圧力容器内の水位		3. 原子炉圧力容器内の水位		3. 原子炉圧力容器内の水位		
適用される原子炉の状態	主要パラメータ要素	適用される原子炉の状態	主要パラメータ要素	適用される原子炉の状態	主要パラメータ要素	
代替パラメータ		代替パラメータ		代替パラメータ		
要素	推定方法	要素	推定方法	要素	推定方法	
① 主要パラメータ の他チャネル	原子炉水位（広帯域）の1チャネルが故障した場合は、他チャネルにより推定する。	① 主要パラメータ の他チャネル	原子炉水位（広帯域）の1チャネルが故障した場合は、他チャネルにより推定する。	① 主要パラメータ の他チャネル	原子炉水位（広帯域）の1チャネルが故障した場合は、他チャネルにより推定する。	
② 原子炉水位（S A 広帯域）	原子炉水位（S A 広帯域）により推定する。	② 原子炉水位（SA）	原子炉水位（SA）により推定する。	② 原子炉水位（S A）	原子炉水位（S A）により推定する。	
③ 高圧代替注水系ポンプ出口流量	機器動作状態にある注水量と崩壊熱除去に必要な注水量により推定する。	③ 高圧代替注水系系統流量	機器動作状態にある流量より、崩壊熱による原子炉水位変化量を考慮し、原子炉圧力容器内の水位を推定する。	③ 高圧原子炉代替注水流量	機器動作状態にある流量より、崩壊熱による原子炉水位変化量を考慮し、原子炉圧力容器内の水位を推定する。	【島根固有】 ・島根は、低圧原子炉代替注水系（常設）、低圧原子炉代替注水系（可搬型）および残留熱代替除去系に各々流量計を設置
③ 残留熱除去系（残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量）		③ 復水補給水系流量（RHR A 系代替注水流量）		③ 低圧原子炉代替注水流量（狭帯域用）		【島根固有】 ・島根は、低圧原子炉代替注水系（可搬型）による低流量注水の流量計を設置 【女川との相違】 ・女川は、直流駆動低圧注水系を設置
③ 残留熱除去系（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）		③ 復水補給水系流量（RHR B 系代替注水流量）		③ 原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量		
③ 直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量		③ 原子炉隔離時冷却系系統流量				
③ 代替循環冷却ポンプ出口流量						
③ 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量						
運転 起 高温停止 低温停止 燃料交換 ※5	原子炉水位（広帯域）	運転 起 高温停止 低温停止 燃料交換 ※5	原子炉水位（広帯域）	運転 起 高温停止 低温停止 燃料交換 ※5	原子炉水位（広帯域）	

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）	柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>③高圧炉心スプレ イ系ポンプ出口 流量</p> <p>③残留熱除去系ポ ンプ出口流量</p> <p>③低圧炉心スプレ イ系ポンプ出口 流量</p>	<p>③高圧炉心注水系 系統流量</p> <p>③残留熱除去系系 統流量</p>	<p>③高圧炉心スプレ イポンプ出口流 量</p> <p>③残留熱除去ポン プ出口流量</p> <p>③低圧炉心スプレ イポンプ出口流 量</p> <p>③残留熱代替除去 系原子炉注水流 量</p>	<p>・記載箇所の相違（女 川の代替循環冷却ポ ンプ出口流量に相 当）</p>
<p>④原子炉圧力</p> <p>④原子炉圧力（S A）</p> <p>④圧力抑制室圧力</p>	<p>④原子炉圧力</p> <p>④原子炉圧力（SA）</p> <p>④格納容器内圧力 （S/C）</p>	<p>④原子炉圧力</p> <p>④原子炉圧力（S A）</p> <p>④サブレッション チェンバ圧力 （SA）</p>	
<p>①主要パラメータ の他チャンネル</p> <p>②原子炉水位（S A 燃料域）</p>	<p>①主要パラメータ の他チャンネル</p> <p>②原子炉水位（SA）</p>	<p>①主要パラメータ の他チャンネル</p> <p>②原子炉水位（S A）</p>	<p>【島根固有】</p> <p>・島根は、低圧原子炉 代替注水系（常設）、 低圧原子炉代替注水 系（可搬型）および 残留熱代替除去系に 各々流量計を設置す る。</p>
<p>③高圧代替注水系 ポンプ出口流量</p> <p>③残留熱除去系洗 浄ライン流量 （残留熱除去系 ヘッドスブレイ ライン洗浄流 量）</p> <p>③残留熱除去系洗 浄ライン流量 （残留熱除去系 B系格納容器冷</p>	<p>原子炉水位 （燃料域）</p> <p>③高圧代替注水系 系統流量</p> <p>③復水補給水系流 量（RHR A系代替 注水流）</p> <p>③復水補給水系流 量（RHR B系代替 注水流）</p>	<p>原子炉水位 （燃料域）</p> <p>③高圧原子炉代替 注水流</p> <p>③代替注水流 （常設）</p> <p>③低圧原子炉代替 注水流</p>	
<p>原子炉水位 （燃料域）</p>	<p>原子炉水位 （燃料域）</p>	<p>原子炉水位 （燃料域）</p>	

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）	柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>却ライン洗浄流量）</p> <p>③直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量</p> <p>③代替循環冷却ポンプ出口流量</p> <p>③原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量</p> <p>③高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量</p> <p>③残留熱除去系ポンプ出口流量</p> <p>③低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量</p> <p>④原子炉圧力</p> <p>④原子炉圧力（SA）</p> <p>④圧力抑制室圧力</p> <p>①原子炉水位（広帯域）</p>	<p>③原子炉隔離時冷却系系統流量</p> <p>③高圧炉心注水系系統流量</p> <p>③残留熱除去系系統流量</p> <p>④原子炉圧力</p> <p>④原子炉圧力（SA）</p> <p>④格納容器内圧力（S/C）</p> <p>①原子炉水位（広帯域）</p> <p>①原子炉水位（燃料域）</p> <p>原子炉水位（SA）</p>	<p>③低圧原子炉代替注水流量（狭帯域用）</p> <p>③原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量</p> <p>③高圧炉心スプレイポンプ出口流量</p> <p>③残留熱除去系ポンプ出口流量</p> <p>③低圧炉心スプレイポンプ出口流量</p> <p>③残留熱代替除去系原子炉注水流量</p> <p>④原子炉圧力</p> <p>④原子炉圧力（SA）</p> <p>④サブプレッションチェンバ圧力（SA）</p> <p>①原子炉水位（広帯域）</p> <p>①原子炉水位（燃料域）</p> <p>原子炉水位（SA）</p>	<p>【島根固有】</p> <ul style="list-style-type: none"> 島根は、低圧原子炉代替注水系（可搬型）による低流量注水用の流量計を設置 <p>【女川との相違】</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川は、直流駆動低圧注水系を設置 <p>・記載箇所の相違（女川の代替循環冷却ポンプ出口流量に相当）</p> <p>【女川との相違】</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川は原子炉水位（SA広帯域）と計測範囲の異なる原子炉水位（燃料域）を代替パラメータとしている。

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）	柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>② 高圧代替注水系ポンプ出口流量</p> <p>② 残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量）</p> <p>② 残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）</p> <p>② 直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量</p> <p>② 代替循環冷却ポンプ出口流量</p> <p>② 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量</p> <p>② 高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量</p> <p>② 残留熱除去系ポンプ出口流量</p> <p>② 低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量</p>	<p>② 高圧代替注水系系統流量</p> <p>② 復水補給水系流量（RHR A系代替注水量）</p> <p>② 復水補給水系流量（RHR B系代替注水量）</p>	<p>② 高圧原子炉代替注水量</p> <p>② 代替注水量（常設）</p> <p>② 低圧原子炉代替注水量</p> <p>② 低圧原子炉代替注水量（狹帯域用）</p> <p>② 原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量</p> <p>② 高圧炉心スプレイポンプ出口流量</p> <p>② 残留熱除去系ポンプ出口流量</p> <p>② 低圧炉心スプレイポンプ出口流量</p> <p>② 残留熱代替除去系原子炉注水量</p>	<p>【島根固有】</p> <ul style="list-style-type: none"> 島根は、低圧原子炉代替注水系（常設）、低圧原子炉代替注水系（可搬型）および残留熱代替除去系に各々流量計を設置 <p>【島根固有】</p> <ul style="list-style-type: none"> 島根は、低圧原子炉代替注水系（可搬型）による低流量注水の流量計を設置 <p>【女川との相違】</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川は、直流駆動低圧注水系を設置 <p>・記載箇所の相違（女川の代替循環冷却ポンプ出口流量に相当）</p>
<p>機器動作状態にある注水量と崩壊熱除去に必要な注水量により推定する。</p>	<p>機器動作状態にある流量より、崩壊熱による原子炉水位変化量を考慮し、原子炉圧力容器内の水位を推定する。</p>	<p>機器動作状態にある流量より、崩壊熱による原子炉水位変化量を考慮し、原子炉圧力容器内の水位を推定する。</p>	

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
③原子炉圧力	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）と圧力抑制室圧力の差圧から原子炉圧力容器の満水を推定する。	③原子炉圧力	差圧から原子炉圧力容器の満水を推定する。	③原子炉圧力	差圧から原子炉圧力容器の満水を推定する。	【女川との相違】 ・女川は原子炉水位（SA広帯域）とは計測範囲の異なる原子炉水位（SA燃料域）を設置
③原子炉圧力（SA）	原子炉水位（燃料域）により推定する。	③原子炉圧力（SA）	差圧から原子炉圧力容器の満水を推定する。	③原子炉圧力（SA）	差圧から原子炉圧力容器の満水を推定する。	
③圧力抑制室圧力	原子炉水位（燃料域）により推定する。	③格納容器内圧力（S/C）		③サブレッションチェンバ圧力（SA）		
①原子炉水位（燃料域）	原子炉水位（燃料域）により推定する。					
②高圧代替注水系ポンプ出口流量	原子炉水位（SA燃料域）					
②残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスブレイライン洗浄流量）	原子炉水位（SA燃料域）					
②残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）	原子炉水位（SA燃料域）					
②直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量	原子炉水位（SA燃料域）					
②代替循環冷却ポンプ出口流量	原子炉水位（SA燃料域）					
②原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量	原子炉水位（SA燃料域）					
②高圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉水位（SA燃料域）					
②残留熱除去系ポンプ出口流量	原子炉水位（SA燃料域）					
②低圧炉心スプレィ系ポンプ出口流量	原子炉水位（SA燃料域）					

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
	流量					
③原子炉圧力	③原子炉圧力、原子炉圧力（S A）と					
③原子炉圧力（S A）	圧力抑制室圧力の差圧から原子炉圧力					
③圧力抑制室圧力	力容器の満水を推定する。					
※5：原子炉が次に示す状態となった場合は適用しない。 （1）原子炉水位がオーバーフロー水位付近で、かつブールゲートが開の場合 （2）原子炉内から全燃料が取出され、かつブールゲートが閉の場合		※5：原子炉が次に示す状態となった場合は適用しない。 （1）原子炉水位がオーバーフロー水位付近で、かつブールゲートが開の場合 （2）原子炉内から全燃料が取出され、かつブールゲートが閉の場合		※5：原子炉が次に示す状態となった場合は適用しない。 （1）原子炉水位がオーバーフロー水位付近で、かつブールゲートが開の場合 （2）原子炉内から全燃料が取出され、かつブールゲートが閉の場合		

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）			柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）			島根原子力発電所 2号炉			備考			
4. 原子炉圧力容器への注水量			4. 原子炉圧力容器への注水量			4. 原子炉圧力容器への注水量						
適用される原子炉の状態	主要パラメータ	代替パラメータ		適用される原子炉の状態	主要パラメータ	代替パラメータ		適用される原子炉の状態	主要パラメータ	代替パラメータ		
		要素	推定方法			要素	推定方法			要素	推定方法	
運転 起 ※6 高温停止 ※6	高圧代替注 水系ポンプ 出口流量	①復水貯蔵タンク 水位	水源である復水貯蔵タンク水位の変化により注水量を推定する。なお、復水貯蔵タンクの補給状況も考慮した上で注水量を推定する。	運転 起 ※6 高温停止 ※6	高圧代替注 水系系統流 量	①復水貯蔵槽水位 (SA)	水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお、復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。	①サプレッション プール水位 (S A) ②原子炉炉水位 (広 帯域) ②原子炉炉水位 (燃 料域) ②原子炉炉水位 (S A)	高圧原子炉 代替注水流 量	①サプレッション プール水位 (S A)	水源であるサプレッションプール水位の変化により注水量を推定する。	【島根固有】 ・島根は、サプレッションプールを水源としており、水源の補給はない。
		②原子炉炉水位 (広帯域)	注水先の原子炉水位の変化により注水量を推定する。			②原子炉炉水位 (広帯域)	注水先の原子炉水位の変化により注水量を推定する。					
		②原子炉炉水位 (燃料域)	原子炉水位の変化により注水量を推定する。			②原子炉炉水位 (燃料域)	注水先の原子炉水位の変化により注水量を推定する。					
運転 起 ※6 高温停止 ※6	原子炉隔離 時冷却系ポンプ出口流 量	①復水貯蔵タンク 水位	水源である復水貯蔵タンク水位の変化により注水量を推定する。なお、復水貯蔵タンクの補給状況も考慮した上で注水量を推定する。	運転 起 ※6 高温停止 ※6	原子炉隔離 時冷却系系 統流 量	①復水貯蔵槽水位 (SA)	水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお、復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。	①サプレッション プール水位 (S A) ②原子炉炉水位 (広 帯域) ②原子炉炉水位 (燃 料域) ②原子炉炉水位 (S A)	原子炉隔離 時冷却ポン プ出口流 量	①サプレッション プール水位 (S A)	水源であるサプレッションプール水位の変化により注水量を推定する。	【島根固有】 ・島根は、サプレッションプールを水源としており、水源の補給はない。
		②原子炉炉水位 (広帯域)	注水先の原子炉水位の変化により注水量を推定する。			②原子炉炉水位 (広帯域)	注水先の原子炉水位の変化により注水量を推定する。					
		②原子炉炉水位 (燃料域)	原子炉水位の変化により注水量を推定する。			②原子炉炉水位 (燃料域)	注水先の原子炉水位の変化により注水量を推定する。					
運転 起 ※6 高温停止 ※6	原子炉隔離 時冷却系ポンプ出口流 量	②原子炉炉水位 (広帯域)	注水先の原子炉水位の変化により注水量を推定する。	②原子炉炉水位 (広帯域) ②原子炉炉水位 (燃 料域) ②原子炉炉水位 (S A) ②原子炉炉水位 (S A)	原子炉隔離 時冷却系系 統流 量	②原子炉炉水位 (広帯域)	注水先の原子炉水位の変化により注水量を推定する。	②原子炉炉水位 (広帯域) ②原子炉炉水位 (燃 料域) ②原子炉炉水位 (S A)	原子炉隔離 時冷却ポン プ出口流 量	②原子炉炉水位 (広帯域)	注水先の原子炉水位の変化により注水量を推定する。	【島根固有】 ・島根は、サプレッションプールを水源としており、水源の補給はない。
		②原子炉炉水位 (燃料域)	原子炉水位の変化により注水量を推定する。			②原子炉炉水位 (燃料域)	注水先の原子炉水位の変化により注水量を推定する。					
		②原子炉炉水位 (S A)	原子炉水位の変化により注水量を推定する。			②原子炉炉水位 (S A)	注水先の原子炉水位の変化により注水量を推定する。					

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
<p>①復水貯蔵タンク水位</p> <p>高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量</p>	<p>水源である復水貯蔵タンク水位の変化により注水量を推定する。なお、復水貯蔵タンクの補給状況も考慮した上で注水量を推定する。</p> <p>原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（S A 広帯域） 原子炉水位（S A 燃料域）</p>	<p>①復水貯蔵槽水位 (SA)</p> <p>高圧炉心注水系統流量</p>	<p>水源である復水貯蔵槽水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお、復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。</p> <p>原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位 (SA)</p>	<p>①サプレッションプール水位 (S A)</p> <p>高圧炉心スプレイポンプ出口流量</p>	<p>水源であるサプレッションプール水位の変化により注水量を推定する。</p> <p>注水先の原子炉水位の水位変化により高圧炉心スプレイポンプ出口流量を推定する。</p>	<p>【島根固有】</p> <p>・島根は、サプレッションプールを水源としており、水源の補給はない。</p>
<p>※6：高圧代替注水系ポンプ出口流量および原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量については、原子炉圧力が1.04MPa [gauge] 以上の場合に適用する。</p>		<p>※6：高圧代替注水系統流量及び原子炉隔離時冷却系統流量については、原子炉圧力が1.03MPa [gauge] 以上の場合に適用する。</p>		<p>・記載箇所の相違（島根は、分割した表の注記は最後にまとめて記載）</p>		

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文章節の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）			柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）			島根原子力発電所 2号炉			備考		
適用される原子炉の状態	主要パラメータ 要素	代替パラメータ		適用される原子炉の状態	主要パラメータ 要素	代替パラメータ		適用される原子炉の状態	主要パラメータ 要素	代替パラメータ 要素	推定方法
		要素	推定方法			要素	推定方法				
運転 起 高温停止	代替循環冷却ポンプ出口流量	①圧力抑制室水位	水源である圧力抑制室水位の変化量により注水量を推定する。	①復水貯蔵タンク水位	①原子炉水位（広帯域） ②原子炉水位（燃料域） ③原子炉水位（S A広帯域） ④原子炉水位（S A燃料域）	①原子炉水位（広帯域） ②原子炉水位（燃料域） ③原子炉水位（S A広帯域） ④原子炉水位（S A燃料域）	水源である復水貯蔵タンク水位の変化量により注水量を推定する。なお、復水貯蔵タンクの補給状況も考慮した上で注水量を推定する。	①原子炉水位（広帯域） ②原子炉水位（燃料域） ③原子炉水位（S A広帯域） ④原子炉水位（S A燃料域）	直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量	【女川との相違】 ・女川は、直流駆動低圧注水系を設置	
		②原子炉水位（広帯域） ③原子炉水位（燃料域） ④原子炉水位（S A広帯域） ⑤原子炉水位（S A燃料域）	原子炉水位の変化量により注水量を推定する。								

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
運転 起 高温停止 低温停止 燃料交換 ※7	残留熱除去 系洗浄ライ ン流量（残 留熱除去系 ヘッドスプ レイライン 洗浄流量）	①復水貯蔵タンク 水位 ②原子炉水位（広 帯域） ②原子炉水位（燃 料域） ②原子炉水位（S A広帯域） ②原子炉水位（S A燃料域）	水源である復水貯 蔵タンク水位の変 化量により注水量 を推定する。なお、 復水貯蔵タンクの 補給状況も考慮し た上で注水量を推 定する。 原子炉水位の変化 量により注水量を 推定する。	①復水貯蔵槽水位 (SA) ②原子炉水位（広 帯域） ②原子炉水位（燃 料域） ②原子炉水位（SA）	水源である復水貯 蔵槽水位（SA）の 変化により注水量 を推定する。なお、 復水貯蔵槽の補給 状況も考慮した上 で注水量を推定す る。	【島根固有】 ・島根は、低圧原子炉 代替注水系（常設）、 低圧原子炉代替注水 系（可搬型）および 残留熱代替除去系に 各々流量計を設置す る。 【島根固有】 ・低圧原子炉代替注水 流量は、可搬型設備 を使用した注水流量 であることから水源 の水位を代替パラメ ータとしていない。 【島根固有】 ・島根は、低圧原子炉 代替注水系（常設）、 低圧原子炉代替注水 系（可搬型）および 残留熱代替除去系に 各々流量計を設置す る。 【島根固有】 ・島根は、低圧原子炉 代替注水系（可搬型） における崩壊熱相当 の低流量を低圧原子 炉代替注水流量（狭
	残留熱除去 系洗浄ライ ン流量（残 留熱除去系 B系格納容 器冷却ライ ン洗浄流 量）	②原子炉水位（広 帯域） ②原子炉水位（燃 料域） ②原子炉水位（S A広帯域） ②原子炉水位（S A燃料域）	水源である復水貯 蔵タンク水位の変 化量により注水量 を推定する。なお、 復水貯蔵タンクの 補給状況も考慮し た上で注水量を推 定する。 原子炉水位の変化 量により注水量を 推定する。	①復水貯蔵槽水位 (SA) ②原子炉水位（広 帯域） ②原子炉水位（燃 料域） ②原子炉水位（SA）	水源である低圧原 子炉代替注水槽水 位の水量変化によ り注水量を推定す る。なお、低圧原 子炉代替注水槽の 補給状況も考慮し た上で注水量を推 定する。 注水先の原子炉水 位の水位変化によ り代替注水流量 （常設）を推定す る。	
運転 起 高温停止 低温停止 燃料交換 ※7		運 転 起 高温停止 低温停止 燃料交換※ 7	運 転 起 高温停止 低温停止 燃料交換※ 7	低圧原子炉 代替注水流 量 ①原子炉水位（広 帯域） ①原子炉水位（燃 料域） ①原子炉水位（S A）	①低圧原子炉代替 注水槽水位 ②原子炉水位（広 帯域） ②原子炉水位（燃 料域） ②原子炉水位（S A）	【島根固有】 ・低圧原子炉代替注水 流量は、可搬型設備 を使用した注水流量 であることから水源 の水位を代替パラメ ータとしていない。 【島根固有】 ・島根は、低圧原子炉 代替注水系（常設）、 低圧原子炉代替注水 系（可搬型）および 残留熱代替除去系に 各々流量計を設置す る。 【島根固有】 ・島根は、低圧原子炉 代替注水系（可搬型） における崩壊熱相当 の低流量を低圧原子 炉代替注水流量（狭
				低圧原子炉 代替注水流 量（狭帯域 用） ①原子炉水位（広 帯域） ①原子炉水位（燃 料域） ①原子炉水位（S A）	①原子炉水位（広 帯域） ①原子炉水位（燃 料域） ①原子炉水位（S A）	【島根固有】 ・低圧原子炉代替注水 流量は、可搬型設備 を使用した注水流量 であることから水源 の水位を代替パラメ ータとしていない。 【島根固有】 ・島根は、低圧原子炉 代替注水系（常設）、 低圧原子炉代替注水 系（可搬型）および 残留熱代替除去系に 各々流量計を設置す る。 【島根固有】 ・島根は、低圧原子炉 代替注水系（可搬型） における崩壊熱相当 の低流量を低圧原子 炉代替注水流量（狭

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
①圧力抑制室水位	水源である圧力抑制室水位の変化量により注水量を推定する。	①サブプレッショ ン・チェンバ プール水位	水源であるサブプレ ッション・チェン バ・プール水位の 変化により注水量 を推定する。	①サブプレッショ ン・チェンバ プール水位（S A）	水源であるサブプレ ッションプール水 位の変化により注 水量を推定する。	帯域用)で計測する。
②原子炉炉水位（広 帯域） ②原子炉炉水位（燃 料域） ②原子炉炉水位（S A広帯域） ②原子炉炉水位（S A燃料域）	原子炉炉水位の変化 量により注水量を 推定する。	②原子炉炉水位（広 帯域） ②原子炉炉水位（燃 料域） ②原子炉炉水位（SA）	注水先の原子炉水 位の水位変化によ り残留熱除去系系 統流量を推定す る。	②原子炉炉水位（広 帯域） ②原子炉炉水位（燃 料域） ②原子炉炉水位（S A）	注水先の原子炉水 位の水位変化によ り残留熱除去ポン プ出口流量を推定 する。	
残留熱除去 系ポンプ出 口流量		残留熱除去 系系統流量			残留熱除去 ポンプ出口 流量	
①圧力抑制室水位	水源である圧力抑制室水位の変化量により注水量を推定する。	①サブプレッシ ョン・チェンバ プール水位	水源であるサブプレ ッション・チェン バ・プール水位の 変化により注水量 を推定する。	①サブプレッシ ョン・チェンバ プール水位（S A）	水源であるサブプレ ッションプール水 位の変化により注 水量を推定する。	・記載箇所の相違（島 根は、分割した表の 注記は最後にまとめ て記載）
②原子炉炉水位（広 帯域） ②原子炉炉水位（燃 料域） ②原子炉炉水位（S A広帯域） ②原子炉炉水位（S A燃料域）	原子炉炉水位の変化 量により注水量を 推定する。	②原子炉炉水位（広 帯域） ②原子炉炉水位（燃 料域） ②原子炉炉水位（SA）	注水先の原子炉水 位の水位変化によ り残留熱除去系系 統流量を推定す る。	②原子炉炉水位（広 帯域） ②原子炉炉水位（燃 料域） ②原子炉炉水位（S A）	注水先の原子炉水 位の水位変化によ り低圧炉心スプレ イポンプ出口流量 を推定する。	
低圧炉心ス プレイ系ポ ンプ出口流 量					低圧炉心ス プレイポン プ出口流量	
※7：原子炉が次に示す状態となった場合は適用しない。 （1）原子炉水位がオーバーフロー水位付近で、かつプールのゲートが開の場合 （2）原子炉内から全燃料が取出され、かつプールのゲートが閉の場合		※7：原子炉が次に示す状態となった場合は適用しない。 （1）原子炉水位がオーバーフロー水位付近で、かつプールのゲートが開の場合 （2）原子炉内から全燃料が取出され、かつプールのゲートが閉の場合				

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）	島根原子力発電所 2号炉				備考	
	<p>柏崎刈羽原子力発電所 7号炉（2020.11.9 施行）</p>	<p>適用される原子炉の状態</p>	<p>主要パラメータ</p>	<p>代替パラメータ</p>	<p>・記載箇所の相違（女川の代替循環冷却ポンプ出口流量に相当）</p>	
		<p>運転 起動 高温停止</p>	<p>要素</p>	<p>要素</p> <p>①サブプレッションプール水位（S A）</p> <p>②原子炉水位（広帯域）</p> <p>②原子炉水位（燃料域）</p> <p>②原子炉水位（S A）</p>	<p>推定方法</p> <p>水源であるサブプレッションプール水位の変化により注水量を推定する。</p> <p>注水先の原子炉水位の水位変化により残り残留熱代替除去系原子炉注水流量を推定する。</p>	<p>・記載箇所の相違（柏崎、女川の注記は上段に記載）</p>

※6：高圧原子炉代替注水流量および原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量については、原子炉圧力が0.74MPa[gage]以上の場合に適用する。

※7：原子炉が次に示す状態となった場合は適用しない。

（1）原子炉水位がオーバーフロー水位付近で、かつプールゲートが開の場合

（2）原子炉内から全燃料が取出され、かつプールゲートが閉の場合

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文案書の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）			柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）			島根原子力発電所 2号炉			備考
5. 格納容器への注水量			5. 原子炉格納容器への注水量			5. 格納容器への注水量			
適用される原子炉の状態	主要パラメータ要素	代替パラメータ要素 推定方法	適用される原子炉の状態	主要パラメータ要素	代替パラメータ要素 推定方法	適用される原子炉の状態	主要パラメータ要素	代替パラメータ要素 推定方法	
運転 起動 高温停止	残留熱除去 系洗浄ライ ン流量（残 留熱除去系 ヘッドスプ レイライン 洗浄流量）	①復水貯蔵タンク水位 ②原子炉格納容器下部水位 ②ドライウエル水位	運転 起動 高温停止	復水補給水 系流量（RHR B系代替注 水流量）	①復水貯蔵タンク水位 ②格納容器内圧力（D/W） ②格納容器内圧力（S/C） ②格納容器下部水位	運転 起動 高温停止	代替注水量（常設）	①低圧原子炉代替注水槽水位 ②ドライウエル圧力（SA） ②サブレッションチェンバ圧力（SA） ②ドライウエル水位 ②サブレッションプール水位（SA）およびペDESTアル水位	【島根固有】 ・島根は、格納容器代替スプレイ系（常設）、格納容器代替スプレイ系（可搬型）および残留熱代替除去系に各々流量計を設置 【島根固有】 ・島根は、ドライウエルからサブレッションプールへの水の流入を考慮してサブレッションプール水位を記載 【女川との相違】 ・女川は、代替パラメータにより注水機能が確保されていることを推定する。
		水源である復水貯蔵タンク水位の变化により注水量を推定する。なお、復水貯蔵タンクの補給状況も考慮した上で注水量を推定する。			水源である復水貯蔵タンク水位（SA）の变化により注水量を推定する。なお、復水貯蔵タンクの補給状況も考慮した上で注水量を推定する。			水源である低圧原子炉代替注水槽水位の水量変化により注水量を推定する。なお、低圧原子炉代替注水槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。	
		ドライウエル温度、ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力が低下傾向にあることにより注水機能が確保されていることを推定する。			注水先の格納容器内圧力（D/W）又は格納容器内圧力（S/C）より格納容器への注水量を推定する。			注水先のドライウエル圧力（SA）またはサブレッションチェンバ圧力（SA）より代替注水量（常設）を推定する。 注水先のドライウエル水位、サブレッションプール水位（SA）およびペDESTアル水位の変化により代替注水量（常設）を推定する。	

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文案書の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
残留熱除去 系洗浄ライ ン流量（残 留熱除去系 B系格納容 器冷却ライ ン洗浄流 量）	①復水貯蔵タンク 水位	水源である復水貯蔵タンク水位の変化量により注水量を推定する。なお、復水貯蔵タンクの補給状況も考慮した上で注水量を推定する。				【女川との相違】 ・女川は、格納容器代替スプレイトして残留熱除去系B系も使用する。
	②原子炉格納容器下部水位 ②ドライウエル水位	原子炉格納容器下部水位、ドライウエル水位の変化量により注水量を推定する。				
	③ドライウエル温度 ③ドライウエル圧力 ③圧力抑制室圧力	ドライウエル温度、ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力が低下傾向にあることにより注水機能が確保されていることを推定する。				【島根固有】 ・島根は、注水先の圧力による推定のためドライウエル圧力（SA）およびサブレーションチェンバ圧力（SA）より格納容器代替スプレイト流量を推定する。 注水先のドライウエル水位、サブレーションプール水位（SA）およびペDESTアル水位の変化により格納容器代替スプレイト流量を推定する。
原子炉格納 容器代替ス プレイト流量	①原子炉格納容器下部水位 ①ドライウエル水位	原子炉格納容器下部水位、ドライウエル水位の変化量により注水量を推定する。				

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
	②ドライウエル温度 ②ドライウエル圧力 ②圧力抑制室圧力	ドライウエル温度、ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力が低下傾向にあることにより注水機能が確保されていることを推定する。				【女川との相違】 ・女川は、代替パラメータにより注水機能が確保されていることを推定する。
	①原子炉格納容器下部水位 ①ドライウエル水位	原子炉格納容器下部水位、ドライウエル水位の変化量により注水量を推定する。				
代替循環冷却ポンプ出口流量	②ドライウエル温度 ②ドライウエル圧力 ②圧力抑制室圧力	ドライウエル温度、ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力が低下傾向にあることにより注水機能が確保されていることを推定する。				【島根固有】 ・島根では、ペDESTアル代替注水流量は、可搬型設備を使用した注水流量であり水源の水位を代替パラメータとはしていない。
原子炉格納容器下部注水流量	①復水貯蔵タンク水位	水源である復水貯蔵タンク水位の変化量により注水量を推定する。なお、復水貯蔵タンクの補給状況も考慮した上で注水量を推定する。	①復水貯蔵タンク水位 (SA)	水源である復水貯蔵タンク水位 (SA) の変化により注水量を推定する。なお、復水貯蔵タンクの補給状況も考慮した上で注水量を推定する。	ペDESTアル代替注水流量	
	②原子炉格納容器下部水位 ②ドライウエル水位	原子炉格納容器下部水位、ドライウエル水位の変化量により注水量を推定する。	②格納容器内圧力 (D/W) ②格納容器内圧力 (S/C) ②格納容器下部水位	注水先の格納容器下部水位の変化により復水補給水系流量（格納容器下部注水流量）を推定する。	注水先のペDESTアル水位およびドライウエル水位の変化によりペDESTアル代替注水流量を推定する。 ①ペDESTアル水位 ①ドライウエル水位	

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
				ペDESTAL 代替注水流 量（狭領域 用）	①ペDESTAL水位 ①ドライウエル水 位	<p>【島根固有】</p> <ul style="list-style-type: none"> 島根は、ペDESTAL代替注水系（可搬型）による低流量注水の流量計を設置する。 記載箇所の相違（女川の代替循環冷却ポンプ出口流量に相当） <p>【島根固有】</p> <ul style="list-style-type: none"> 島根は残留熱代替除去系による原子炉圧力容器および格納容器への注水に対して各々流量計を設置しているため、残留熱代替除去系原子炉注水流量を代替パラメータとしている。また、島根はポンプの出口圧力との注水特性から推定するため残留熱代替除去ポンプ出口圧力を代替パラメータとしている。
				残留熱代替除去系格納容器スプレイ流量	①残留熱代替除去系原子炉注水流 量 ①残留熱代替除去ポンプ出口圧力	
					注水先のペDESTAL水位およびドライウエル水位の変 化によりペDESTAL代替注水流 量（狭領域用）を推 定する。	
					残留熱代替除去ポンプ出口圧力から 残留熱代替除去ポンプの注水特性を 用いて流量を推定 し、この流量から 残留熱代替除去系 原子炉注水流 量を差し引いて、残留 熱代替除去系格納 容器スプレイ流量 を推定する。	

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）			柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）			島根原子力発電所 2号炉			備考
6. 格納容器内の温度									
適用される原子炉の状態	主要パラメータ	要素	代替パラメータ	要素	推定方法	適用される原子炉の状態	主要パラメータ	要素	推定方法
	要素	要素	要素	要素	推定方法		要素	要素	推定方法
運転起動高温停止	ドライウエルの温度	①主要パラメータの他の検出器	ドライウエルの温度の1つの検出器が故障した場合は、他の検出器により推定する。	①主要パラメータの他のチャンネル	ドライウエルの温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	運転起動高温停止	ドライウエルの温度	①主要パラメータの他のチャンネル	ドライウエルの温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。
	ドライウエルの温度	②ドライウエルの圧力	飽和温度/圧力の関係を利用してドライウエルの圧力よりドライウエルの温度を推定する。	②格納容器内圧力(D/W)	飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内圧力(D/W)によりドライウエルの温度を推定する。		ドライウエルの温度	②ペDESTタル温度(S/A)	ペDESTタル温度(S/A)により推定する。
運転起動高温停止		③圧力抑制室圧力	飽和温度/圧力の関係を利用して圧力抑制室圧力によりドライウエルの温度を推定する。	③格納容器内圧力(S/C)	飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内圧力(S/C)によりドライウエルの温度を推定する。	運転起動高温停止		④サブプレッションチェンバ圧力(S/A)	④サブプレッションチェンバ圧力(S/A)によりドライウエルの温度(S/A)を推定する。
								①主要パラメータの他のチャンネル	①主要パラメータの他のチャンネル
							ペDESTタル温度(S/A)	②ドライウエルの温度(S/A)	②ドライウエルの温度(S/A)により推定する。
【島根固有】									
・島根は、ドライウエルの内の雰囲気温度のパラメータ名称を、ドライウエルの温度(S/A)とペDESTタル温度(S/A)に分けており、相互に代替パラメータとして									
【島根固有】									
・島根は、ドライウエルの内の雰囲気温度のパラメータ名称を、ドライウエルの温度									

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載差、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）			柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）			島根原子力発電所 2号炉			備考	
7. 格納容器内の圧力										
適用される原子炉の状態	主要パラメータ要素	代替パラメータ		主要パラメータ要素	格納容器内の圧力	格納容器内圧力 (S/C) により推定する。	格納容器内圧力 (S/C)	格納容器内圧力 (D/W)	格納容器内圧力 (D/W)	格納容器内圧力 (D/W)
		要素	推定方法							
運転起動高温停止	ドライウエル圧力	①圧力抑制室圧力	圧力抑制室圧力により推定する。	①格納容器内圧力 (S/C)	格納容器内圧力 (S/C) により推定する。	①格納容器内圧力 (S/C)	格納容器内圧力 (D/W)	格納容器内圧力 (D/W)	格納容器内圧力 (D/W)	格納容器内圧力 (D/W) により推定する。
		②ドライウエル温度	飽和温度/圧力の関係を利用してドライウエル温度によりドライウエル圧力を推定する。	②ドライウエル雰囲気温度	飽和温度/圧力の関係を利用してドライウエル雰囲気温度により格納容器内圧力 (D/W) を推定する。	③ [格納容器内圧力 (D/W)]	監視可能であれば格納容器内圧力 (D/W) (常用計器) により、圧力を推定する。	③ [ドライウエル圧力]	監視可能であればドライウエル圧力 (常用計器) により、ドライウエル圧力を推定する。	
7. 格納容器内の圧力										
適用される原子炉の状態	主要パラメータ要素	代替パラメータ		主要パラメータ要素	格納容器内の圧力	格納容器内圧力 (S/C)	格納容器内圧力 (D/W)	格納容器内圧力 (D/W)	格納容器内圧力 (D/W)	格納容器内圧力 (D/W)
		要素	推定方法							
運転起動高温停止	ドライウエル圧力	①圧力抑制室圧力	圧力抑制室圧力により推定する。	①主要パラメータの他チヤンネル	①主要パラメータの他チヤンネルが故障した場合、他チヤンネルにより推定する。	②サブプレッションチエンバ圧力 (SA)	②サブプレッションチエンバ圧力 (SA) により推定する。	③ドライウエル温度 (SA)	③ドライウエル温度 (SA)、ペデスタル温度 (SA) によりドライウエル圧力 (SA) を推定する。	【島根固有】 ・島根は、主要パラメータの検出器を複数設置しており主要パラメータの他チヤンネルを代替パラメータとして使用する。 女川および柏崎は、代替パラメータとして常用計器を使用する。(下段に記載)
		②ドライウエル温度	飽和温度/圧力の関係を利用してドライウエル温度によりドライウエル圧力を推定する。	③ペデスタル温度 (SA)	③ペデスタル温度 (SA)、ペデスタル温度 (SA) によりドライウエル圧力 (SA) を推定する。	①主要パラメータの他チヤンネル	①主要パラメータの他チヤンネルが故障した場合は、他チヤンネルにより推定する。	②ドライウエル圧力 (SA)	②ドライウエル圧力 (SA) により推定する。	【島根固有】 ・島根は、主要パラメータの検出器を複数設置しており主要パラメータの他チヤンネルを代替パラメータとして使用する。 女川および柏崎は、代替パラメータとして常用計器を使用する。(下段に記載)

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記号整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
	②圧力抑制室内空 気温度	飽和温度／圧力の 関係を利用して圧 力抑制室内空気を温 度により圧力抑制 室圧力を推定す る。	②サプレッション ン・チエンバ気 体温度	飽和温度／圧力の 関係を利用してサ プレッション・チ エンバ気体温度に より格納容器内圧 力（S/C）を推定す る。	③サプレッション チエンバ温度（S A）	飽和温度／圧力の 関係を利用してサ プレッションチエ ンバ温度（SA） によりサプレッシ ョンチエンバ圧力 （SA）を推定す る。
	③〔圧力抑制室圧 力〕	監視可能であれば 圧力抑制室圧力 （常用計器）によ り、圧力抑制室圧 力を推定する。	③〔格納容器内圧 力（S/C）〕	監視可能であれば 格納容器内圧力 （S/C）（常用計器） により、圧力を推 定する。		

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載差現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）			柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）			島根原子力発電所 2号炉			備考
8. 格納容器内の水位			8. 原子炉格納容器内の水位			8. 格納容器内の水位			<p>【島根固有】</p> <ul style="list-style-type: none"> 島根は、ドライウエルからサブレッシュヨンプールへ水が流入することを踏まえて代替パラメータを選定。 <p>【島根固有】</p> <ul style="list-style-type: none"> 島根は、外部水源を使用したドライウエルへ注水する各系統に各々流量計を設置し、動作状況にある流量によりドライウエル水位を推定する。 <p>【柏崎刈羽との相違】</p> <ul style="list-style-type: none"> 柏崎は、炉型のドライウエル水位に相当する設備がない。 <p>【女川との相違】</p> <ul style="list-style-type: none"> 記載箇所の相違（女川はドライウエル水位を下段に記載）
適用される原子炉の状態	主要パラメータ要素	代替パラメータ要素	適用される原子炉の状態	主要パラメータ要素	代替パラメータ要素	適用される原子炉の状態	主要パラメータ要素	代替パラメータ要素	
運転 起動 高温停止			運転 起動 高温停止			運転 起動 高温停止	ドライウエル水位	<p>①サブレッシュヨンプール水位（SA）</p> <p>②代替注水流量（常設）</p> <p>②低圧原子炉代替注水流量（狭帯域用）</p> <p>②格納容器代替スプレイ流量</p> <p>②ペデスタル代替注水流量</p> <p>②ペデスタル代替注水流量（狭帯域用）</p> <p>③低圧原子炉代替注水槽水位</p>	<p>格納容器下部注水の停止判断に用いるドライウエル水位計の監視が不可能となった場合は、サブレッシュヨンプール水位（SA）により推定する。</p> <p>機器動作状態にある流量により、ドライウエル水位を推定する。</p> <p>水源である低圧原子炉代替注水槽水位の水量変化により、ドライウエル水位を推定する。なお、低圧原子炉代替注水槽水位の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。</p>

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載差現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
						【女川との相違】 ・女川は、主要パラメータの検出器を複数設置しており他チャンネルを代替パラメータとして記載 【島根固有】 ・島根は、格納容器代替スプレイ系（常設）および格納容器代替スプレイ系（可搬型）に各々流量計を設置する。
①主要パラメータ の他チャンネル	圧力抑制室水位の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。					
②高圧代替注水系ポンプ出口流量	高圧代替注水系ポンプ出口流量、残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量）	①復水補給水系流量（RHR B系代替注水量）	復水補給水系流量（RHR B系代替注水量）の注水量により、サブレーション・チェンバ・プール水位を推定する。			
②残留熱除去系洗浄ライン流量	残留熱除去系洗浄ライン流量	①低圧原子炉代替注水量				
②残留熱除去系洗浄ライン流量	残留熱除去系洗浄ライン流量	①低圧原子炉代替注水量（狭帯域用）				
②直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量	直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量			サブレーション ヨンプール 水位(SA)		【柏崎との相違】 ・柏崎は、外部水源による格納容器代替スプレイの流量のみ代替パラメータとしている。島根および女川は、外部水源による格納容器代替スプレイに加えて、原子炉圧力容器からサブレーションプールに水が流入することを考慮して代替パラメータを設定している。
②原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量	原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量					
②高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量	高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量					
②原子炉格納容器代替スプレイ流量	原子炉格納容器代替スプレイ流量					
②原子炉格納容器下部注水量	原子炉格納容器下部注水量					【島根固有】 ・島根は、ペDESTAL代替注水系（可搬型）による低流量注水の流量計を設置する。

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
	③復水貯蔵タンク水位	水源である復水貯蔵タンク水位の変化により、原子炉格納容器下部水位を推定する。なお、復水貯蔵タンクの補給状況も考慮した上で注水量を推定する。	③復水貯蔵槽水位 (SA)	水源である復水貯蔵槽水位の変化により、サブレーション・チェンバ・プールの水位を推定する。なお、復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で注水量を推定する。	②低圧原子炉代替注水水位	【柏崎刈羽との相違】 ・ 柏崎は、圧力計2か所の差圧から水位を推定
			③格納容器内圧力 (D/W) ③格納容器内圧力 (S/C)	差圧によりサブレーション・チェンバ・プールの水位を推定する。		
			④ [サブレーション・チェンバ・プールの水位]	監視可能であればサブレーション・チェンバ・プールの水位（常用計器）により、水位を推定する。	③ [サブレーション・プールの水位]	監視可能であればサブレーション・プールの水位（常用計器）により、水位を推定する。
	①主要パラメータの他チャンネル	原子炉格納容器下部水位の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	①主要パラメータの他チャンネル	格納容器下部水位の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	①主要パラメータの他チャンネル	ペデスタル水位の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。
原子炉格納容器下部水位	②残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイン洗浄流量） ②残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）	残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイン洗浄流量）、残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）、原子炉格納容器代替スプレイン流量、代	格納容器下部水位	復水補給水系流量（格納容器下部注水量）の注水量により、格納容器下部水位を推定する。	②代替注水流量（常設） ペデスタル水位	【島根固有】 ・ 島根は、ペデスタル代替注水系（常設）およびペデスタル代替注水系（可搬型）に各々流量計を設置する。 【島根固有】 ・ 島根は、格納容器代替スプレイン系（可搬型）により注水した

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
②原子炉格納容器 代替スプレイ流 量 ②代替循環冷却ポ ンプ出口流量 ②原子炉格納容器 下部注水流量	②原子炉格納容器 出口流量および原 子炉格納容器下部 注水流量により原 子炉格納容器下部 水位を推定する。	②復水補給水系流 量（格納容器下 部注水流量）	②復水貯蔵タンク水 位	②格納容器代替スプ レイ流量	②ペデスタル代替注 水流量	水が格納容器下部に 流入することを考慮 して代替パラメータ を設定
③復水貯蔵タンク 水位	水源である復水貯 蔵タンク水位の変 化量により、原子 炉格納容器下部水 位を推定する。な お、復水貯蔵タン クの補給状況も考 慮した上で注水量 を推定する。	③復水貯蔵タンク水 位（SA）	水源である低圧原 子炉代替注水タンク の水量変化によ り、ペデスタル水 位を推定する。な お、低圧原子炉代 替注水タンク水位の補 給状況も考慮した 上で注水量を推定 する。			
①主要パラメータ の他チャンネル	ドライウエル水位 の1チャンネルが 故障した場合は、 他チャンネルによ り推定する。					【女川との相違】 ・記載箇所の相違（島 根はドライウエル水 位を上段に記載）
②残留熱除去系洗 浄ライン流量 （残留熱除去系 ヘッドスプレイ ライン洗浄流 量） ②残留熱除去系洗 浄ライン流量 （残留熱除去系 B系格納容器冷 却ライン洗浄流 量） ②原子炉格納容器	残留熱除去系洗浄 ライン流量（残留 熱除去系ヘッドス プレイライン洗浄 流量）、残留熱除去 系洗浄ライン流量 （残留熱除去系B 系格納容器冷却ラ イン洗浄流量）、原 子炉格納容器代替 スプレイ流量、代 替循環冷却ポンプ 出口流量および原					

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文章法の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）			島根原子力発電所 2号炉			備考
代替スプレイ流量	子炉格納容器下部注水流量によりドリライウエル水位を推定する。							
②代替循環冷却ポンプ出口流量								
②原子炉格納容器下部注水流量								
③復水貯蔵タンク水位	水源である復水貯蔵タンク水位の變化量により、ドリライウエル水位を推定する。なお、復水貯蔵タンクの補給状況も考慮した上で注水量を推定する。							

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）			柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）			島根原子力発電所 2号炉			備考
9. 格納容器内の水素濃度									
適用される原子炉の状態	主要パラメータ	要素	代替パラメータ	要素	推定方法	適用される原子炉の状態	主要パラメータ	要素	推定方法
	要素	要素	要素	要素	推定方法		要素	要素	推定方法
運転起動高温停止	格納容器内の水素濃度（D/W）	格納容器内水素濃度（D/W）の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	格納容器内水素濃度（D/W）の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	格納容器内水素濃度（SA）	格納容器内水素濃度（SA）により推定する。	運転起動高温停止	格納容器水素濃度（B系）	① 格納容器水素濃度（SA）	格納容器水素濃度（SA）により推定する。
								② 格納容器内雰囲気水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。
運転起動高温停止	格納容器内水素濃度（D/W）	格納容器内水素濃度（D/W）の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	格納容器内水素濃度（SA）	格納容器内水素濃度（SA）	格納容器内水素濃度（SA）により推定する。	運転起動高温停止	格納容器水素濃度（SA）	① 格納容器水素濃度（A系）	監視可能であれば格納容器水素濃度（A系）（常用計器）により、水素濃度を推定する。
								② 格納容器内雰囲気水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度により推定する。
運転起動高温停止	格納容器内水素濃度（D/W）	格納容器内水素濃度（D/W）の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	格納容器内水素濃度（SA）	格納容器内水素濃度（SA）	格納容器内水素濃度（SA）により推定する。	運転起動高温停止	格納容器水素濃度（SA）	① 格納容器水素濃度（B系）	格納容器水素濃度（B系）により推定する。
								② 格納容器水素濃度（A系）	監視可能であれば格納容器水素濃度（A系）（常用計器）により、水素濃度を推定する。

【島根固有】

・島根は、既設の格納容器水素濃度のうちB系を重大事故等対処設備として使用することから、A系は常用計器として後段に記載

【女川との相違】

・記載箇所の相違（女川の格納容器内雰囲気水素濃度に相当）

【島根固有】

・島根は、既設の格納容器水素濃度のうちB系を重大事故等対処設備として使用することから、A系は常用計器として後段に記載

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文案書の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）				島根原子力発電所 2号炉				備考
格納容器内 水素濃度 (S/C)	①主要パラメータ の他チャンネル	格納容器内水素濃 度(S/C)の1 チャンネルが故障 した場合は、他チ ャネルにより推 定する。								【女川との相違】 ・女川は、島根および 柏崎の「格納容器水 素濃度(SA)」に相 当する設備のパラメ ータ名称を2つに分 けて設定
	②格納容器内雰囲気 水素濃度	格納容器内雰囲気 水素濃度により推 定する。								
格納容器内 雰囲気水素 濃度	①主要パラメータ の他チャンネル	格納容器内雰囲気 水素濃度の1チャ ンネルが故障した 場合は、他チャン ネルにより推定す る。								【女川との相違】 ・女川は、島根および 柏崎の「格納容器水 素濃度(SA)」に相 当する設備のパラメ ータ名称を2つに分 けて設定
	②格納容器内水素 濃度(D/W) ②格納容器内水素 濃度(S/C)	格納容器内水素濃 度(D/W)およ び格納容器内水素 濃度(S/C)に より推定する。								

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 線字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文案書の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）			柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）			島根原子力発電所 2号炉			備考
10. 格納容器内の放射線量率									
適用される原子炉の状態	主要パラメータ	要素	代替パラメータ	要素	推定方法	適用される原子炉の状態	主要パラメータ	要素	推定方法
	格納容器内 雰囲気放射線モニタ (D/W)	① 主要パラメータ の他チャンネル	格納容器内 雰囲気放射線レベル (D/W)	① 主要パラメータの他チャンネル	格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。		格納容器内 雰囲気放射線モニタ (ドラ イウエル)	① 主要パラメータの他チャンネル	格納容器内 雰囲気放射線モニタ (ドラ イウエル)
運転 起 高温停止	格納容器内 雰囲気放射線モニタ (D/W)	② [エリア放射線モニタ]	格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C)	② [エリア放射線モニタ]	監視可能であれば、エリア放射線モニタ (有効監視パラメータ) の指示値を用いて、原子炉格納容器内の放射線量率を推定する。	運転 起 高温停止	格納容器内 雰囲気放射線モニタ	② [エリア放射線モニタ]	監視可能であれば、エリア放射線モニタ (有効監視パラメータ) の指示値を用いて、格納容器内の放射線量率を推定する。
	格納容器内 雰囲気放射線モニタ (S/C)	① 主要パラメータの他チャンネル	格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C)	① 主要パラメータの他チャンネル	監視可能であれば、エリア放射線モニタ (有効監視パラメータ) の指示値を用いて、原子炉格納容器内の放射線量率を推定する。		格納容器内 雰囲気放射線モニタ (サブ レクション チェンバ)	① 主要パラメータの他チャンネル	監視可能であれば、エリア放射線モニタ (有効監視パラメータ) の指示値を用いて、格納容器内の放射線量率を推定する。

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文案書の相違等）
 下線：島根要前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）			柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）			島根原子力発電所 2号炉			備考
11. 未臨界の維持または監視									
11.1. 未臨界の維持または監視			11.1. 未臨界の維持または監視			11.1. 未臨界の維持または監視			
適用される原子炉の状態	主要パラメータ要素	代替パラメータ要素	主要パラメータ要素	代替パラメータ要素	主要パラメータ要素	代替パラメータ要素	主要パラメータ要素	代替パラメータ要素	備考
起動※ ⁸ 高温停止 低温停止 燃料交換※ ⁹	①主要パラメータ の他チャンネル 推定する。 ②平均出力領域モニタ ③ [制御棒位置指示系 (有効監視パラメータ)により全制御棒が挿入状態にあることが確認できる場合は、未臨界状態の維持を推定する。	起動領域モニタの 1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 平均出力領域モニタにより推定する。 制御棒操作監視系 (有効監視パラメータ)により全制御棒が挿入状態にあることが確認できる場合は、未臨界状態の維持を推定する。	起動※ ⁸ 高温停止 低温停止 燃料交換※ ⁹	①主要パラメータ の他チャンネル 推定する。 ②平均出力領域モニタ ③ [制御棒操作監視系 (有効監視パラメータ)により全制御棒が挿入状態にあることが確認できる場合は、未臨界状態の維持を推定する。	起動※ ⁸ 高温停止 低温停止 燃料交換※ ⁹	①主要パラメータ の他チャンネル 推定する。 ②中間領域計装 ②平均出力領域計装 ③ [制御棒手動操作・監視系] ③ [制御棒手動操作・監視系]	①主要パラメータ の他チャンネル 推定する。 ②中間領域計装 ②平均出力領域計装 ③ [制御棒手動操作・監視系] ③ [制御棒手動操作・監視系]	①主要パラメータ の他チャンネル 推定する。 ②中間領域計装 ②平均出力領域計装 ③ [制御棒手動操作・監視系] ③ [制御棒手動操作・監視系]	【島根固有】 ・島根は、中性子源領域計装および中間領域計装を設置しているが、女川および柏崎は起動領域モニタを採用している。
起動 ※ ⁸ 高温停止 低温停止 燃料交換※ ⁹	①主要パラメータ の他チャンネル 推定する。 ②平均出力領域モニタ ③ [制御棒位置指示系] ③ [制御棒位置指示系]	起動領域モニタの 1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 平均出力領域モニタにより推定する。 制御棒位置指示系 (有効監視パラメータ)により全制御棒が挿入状態にあることが確認できる場合は、未臨界状態の維持を推定する。	起動※ ⁸ 高温停止 低温停止 燃料交換※ ⁹	①主要パラメータ の他チャンネル 推定する。 ②平均出力領域モニタ ③ [制御棒操作監視系 (有効監視パラメータ)により全制御棒が挿入状態にあることが確認できる場合は、未臨界状態の維持を推定する。	起動※ ⁸ 高温停止 低温停止 燃料交換※ ⁹	①主要パラメータ の他チャンネル 推定する。 ②中間領域計装 ②平均出力領域計装 ③ [制御棒手動操作・監視系] ③ [制御棒手動操作・監視系]	①主要パラメータ の他チャンネル 推定する。 ②中間領域計装 ②平均出力領域計装 ③ [制御棒手動操作・監視系] ③ [制御棒手動操作・監視系]	①主要パラメータ の他チャンネル 推定する。 ②中間領域計装 ②平均出力領域計装 ③ [制御棒手動操作・監視系] ③ [制御棒手動操作・監視系]	【島根固有】 ・島根は、中性子源領域計装および中間領域計装を設置しているが、女川および柏崎は起動領域モニタを採用している。

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
運 転 起 動	① 主要パラメータ の他チャンネル	平均出力領域モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	① 主要パラメータ の他チャンネル	平均出力領域モニタの1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	平均出力領域計装	【島根固有】 ・島根は、中性子源領域計装および中間領域計装を採用しているが、女川および柏崎は起動領域モニタを採用している。
	② 起動領域モニタ	起動領域モニタにより推定する。	② 起動領域モニタ	起動領域モニタにより推定する。	平均出力領域計装	
運 転 起 動	③ [制御棒位置指示系]	制御棒位置指示系（有効監視パラメータ）により全制御棒が全挿入状態にあることが確認できる場合は、未臨界状態の維持を推定する。	③ [制御棒操作監視系]	制御棒操作監視系（有効監視パラメータ）により全制御棒が挿入状態にあることが確認できる場合は、未臨界状態の維持を推定する。	平均出力領域計装	【島根固有】 ・島根は、中性子源領域計装および中間領域計装を採用しているが、女川および柏崎は起動領域モニタを採用している。
	① 起動領域モニタ	起動領域モニタにより推定する。	① 起動領域モニタ	起動領域モニタにより推定する。	平均出力領域計装	
運 転 起 動	② 平均出力領域モニタ	平均出力領域モニタにより推定する。	② 平均出力領域モニタ	平均出力領域モニタにより推定する。	平均出力領域計装	【島根固有】 ・島根は、中性子源領域計装 ・島根は、起動における中性子源領域計装の計測期間を記載している。 【島根固有】 ・島根は、中性子源領域計装および中間領域計装を採用しており、保安規定27条の期間を記載。
	③ 平均出力領域モニタ	平均出力領域モニタにより推定する。	③ 平均出力領域モニタ	平均出力領域モニタにより推定する。	平均出力領域計装	

※8：計数領域の場合に適用する。

※9：起動領域モニタ周りの燃料が4体未満の場合は除く。

※8：中間領域計装がレンジ2以下である場合。

※9：中性子源領域計装周りの燃料が4体未満の場合は除く。

※10：1体以上の燃料が装荷されているセルの制御棒が全挿入かつ除外されている場合または全燃料が取り出されている場合を除く。

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）			柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）			島根原子力発電所 2号炉			備考
12. 最終ヒートシンクの確保									
(1) 代替循環冷却系									
適用される原子炉の状態	主要パラメータ	要素	代替パラメータ	要素	推定方法	適用される原子炉の状態	主要パラメータ	要素	推定方法
運転 起動 高温停止	残留熱除去系熱交換器入口温度	① 主要パラメータの他の検出器	① サプレッションの他のチャンネル	① 主要パラメータの他のチャンネル	サプレッション・チェンバ・プールの1チャンネルが故障した場合、他チャンネルにより推定する。	運転 起動 高温停止	サプレッション・チェンバ・プール温度	① 主要パラメータの他のチャンネル	① サプレッション・チェンバ・プールの1チャンネルが故障した場合、他チャンネルにより推定する。
		② 圧力抑制室内空気温度	② サプレッション・チェンバ・プール温度	② サプレッション・チェンバ・プール温度を推定する。	② サプレッション・チェンバ・プール温度 (SA) によりサプレッション・チェンバ・プール温度 (SA) を推定する。				
運転 起動 高温停止	残留熱除去系熱交換器入口温度	① サプレッション・プール温度	① サプレッション・チェンバ・プール温度	① サプレッション・チェンバ・プール温度	熱交換器ユニットの熱交換量評価からサプレッション・チェンバ・プールの水温度により推定する。	運転 起動 高温停止	残留熱除去系熱交換器出口温度	① サプレッション・プール温度 (SA) により推定する。	① サプレッション・プール温度 (SA) により推定する。
		② 圧力抑制室水位	② 原子炉水位 (広帯域)	② 原子炉水位 (燃料域)	水源である圧力抑制室水位の変化量により注水量を推定する。			② 原子炉水位 (SA) の変化により注水量を推定する。	
運転 起動 高温停止	代替循環冷却ポンプ出口流量 (原子炉圧力容器への注水)	① 原子炉水位 (広帯域)	① 原子炉水位 (燃料域)	① 原子炉水位 (燃料域)	注水先の原子炉水位の水位変化により復水補給水流量 (RHR A 系) 系代替注水量 (RHR A 系) を推定する。	運転 起動 高温停止	残留熱代替除去系原子炉注水流量	② 原子炉水位 (SA) により注水量を推定する。	② 原子炉水位 (SA) により注水量を推定する。
		② 原子炉水位 (SA) 燃料域)	② 原子炉水位 (SA) 燃料域)	② 原子炉水位 (SA) 燃料域)	注水先の原子炉水位の水位変化により残留熱代替除去系原子炉注水流量を推定する。				

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）	柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）	島根原子力発電所 2号炉	備考
		<p>③残留熱代替除去系格納容器スプレイ流量</p> <p>③残留熱代替除去ポンプ出口圧力</p>	<p>【島根固有】</p> <ul style="list-style-type: none"> 島根は、ポンプの出口圧力とポンプの注水特性を用いて推定
	<p>②原子炉圧力容器温度</p>	<p>④原子炉圧力容器温度（SA）</p>	
	<p>①復水補給水系流量（RHR A 系代替注水流量）</p> <p>①復水補給水系下部注水流量</p> <p>①復水移送ポンプ吐出圧力</p>	<p>①残留熱代替除去系原子炉注水流量</p>	<p>【島根固有】</p> <ul style="list-style-type: none"> 島根は、ポンプの出口圧力とポンプの注水特性を用いて推定 <p>【柏崎刈羽との相違】</p> <ul style="list-style-type: none"> 柏崎の「復水補給水系流量（格納容器下部注水流量）」は、島根では「残留熱代替除去系格納容器スプレイ流量」に含まれる。
<p>代替循環冷却ポンプ出口流量（原子炉格納容器への注水）</p>	<p>原子炉圧力容器温度により最終ヒートシンクが確保されていることを確認する。</p>	<p>残留熱代替除去系格納容器スプレイ流量</p>	<p>【女川との相違】</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川は注水先の水位変化により推定
	<p>③原子炉圧力容器温度</p>		
	<p>原子炉格納容器下部水位、ドラウエル水位の変化量により代替循環冷却ポンプ出口流量を推定する。</p>		

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 赤字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
	<p>② ドライウエル温度</p> <p>② ドライウエル圧力</p> <p>② 圧力抑制室圧力</p>	<p>ドライウエル温度、ドライウエル圧力、圧力抑制室圧力により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p>	<p>② サプレッション・チェンバ・プールの水温度</p> <p>② ドライウエル雰囲気温度</p> <p>② サプレッション・チェンバ内気体温度</p>	<p>サプレッション・チェンバ・プールの水温度、ドライウエル雰囲気温度、サプレッション・チェンバ気体温度により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p>	<p>② サプレッション・プールの水温度 (S/A)、ドライウエル温度 (SA)、サプレッションチェンバ温度 (SA) により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p>	<p>【女川との相違】</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川は、格納容器圧力も代替パラメータとして記載 <p>【柏崎刈羽との相違】</p> <ul style="list-style-type: none"> 柏崎は、復水移送ポンプによる格納容器下部流量計を個別に設置している。
		<p>① 復水補給水系流量 (RHR B 系代替注水流量)</p> <p>① 復水移送ポンプ吐出圧力</p> <p>① 格納容器内圧力 (S/C)</p> <p>① サプレッション・チェンバ・プール水位</p>	<p>① 復水補給水系流量 (RHR B 系代替注水流量)</p> <p>① 復水移送ポンプ吐出圧力</p> <p>① 格納容器内圧力 (S/C)</p> <p>① サプレッション・チェンバ・プール水位</p>	<p>① 復水移送ポンプの注水特性から推定した総流量より、原子炉格納容器下部への注水量を推定する。</p> <p>② 格納容器下部水位</p>	<p>注水先の格納容器下部水位の変化により復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) を推定する。</p>	

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 赤字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文案書の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）			柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）			島根原子力発電所 2号炉			備考		
(2) 原子炉格納容器フィルタベント系			(2) 格納容器圧力逃がし装置			(2) 格納容器フィルタベント系					
適用される原子炉の状態	主要パラメータ要素	代替パラメータ		適用される原子炉の状態	主要パラメータ要素	代替パラメータ		適用される原子炉の状態	主要パラメータ要素	代替パラメータ要素	推定方法
		要素	推定方法			要素	推定方法				
運転 起動 高温停止	フィルタ装置水位（広帯域）	①主要パラメータの他チャンネル	フィルタ装置水位の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	運転 起動 高温停止	フィルタ装置水位	①主要パラメータの他チャンネル	フィルタ装置水位の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	運転 起動 高温停止	スクラバ容器水位	①主要パラメータの他チャンネル	スクラバ容器水位の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。
	フィルタ装置置入口圧力（広帯域）	①ドライウエル圧力 ①圧力抑制室圧力	ドライウエル圧力または圧力抑制室圧力の傾向監視により原子炉格納容器フィルタベント系フィルタ装置の健全性を推定する。		スクラバ容器置入口圧力	①格納容器内圧力（D/W） ①格納容器内圧力（S/C）	格納容器内圧力（D/W）又は格納容器内圧力（S/C）の傾向監視により格納容器圧力逃がし装置の健全性を推定する。		スクラバ容器置入口圧力	①主要パラメータの他チャンネル	スクラバ容器置入口圧力（SA）またはサブプレッションチェンバ圧力（SA）の傾向監視により格納容器フィルタベント系の健全性を推定する。
	フィルタ装置置出口圧力（広帯域）	①ドライウエル圧力 ①圧力抑制室圧力	ドライウエル圧力または圧力抑制室圧力の傾向監視により原子炉格納容器フィルタベント系フィルタ装置の健全性を推定する。		スクラバ容器置出口圧力	①スクラバ容器置出口圧力	スクラバ容器置出口圧力の傾向監視により格納容器フィルタベント系の健全性を推定する。		スクラバ容器置出口圧力	①主要パラメータの他チャンネル	スクラバ容器置出口圧力（SA）またはサブプレッションチェンバ圧力（SA）の傾向監視により格納容器フィルタベント系の健全性を推定する。
運転 起動 高温停止	フィルタ装置置入口圧力（広帯域）	①主要パラメータの他チャンネル	フィルタ装置置入口圧力の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	運転 起動 高温停止	スクラバ容器置入口圧力	①主要パラメータの他チャンネル	スクラバ容器置入口圧力の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	運転 起動 高温停止	スクラバ容器置入口圧力	①主要パラメータの他チャンネル	スクラバ容器置入口圧力の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。
	フィルタ装置置出口圧力（広帯域）	①主要パラメータの他チャンネル	フィルタ装置置出口圧力の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。		スクラバ容器置出口圧力	①主要パラメータの他チャンネル	スクラバ容器置出口圧力の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。		スクラバ容器置出口圧力	①主要パラメータの他チャンネル	スクラバ容器置出口圧力の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。

【島根固有】
 ・島根は、主要パラメータの検出器を複数設置しており他チャンネルを代替パラメータとして記載

【女川との相違】
 ・女川は、フィルタ装置の出口圧力を設置

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉	備考
(3) 耐圧強化ベント系					
適用される原子炉の状態	主要パラメータ	代替パラメータ		耐圧強化ベント系 放射線モニタの1 チャンネルが故障 した場合は、他チャンネルにより推 定する。	【島根固有】 ・島根では、耐圧強化 ベントは自主対策設 備
	要素	要素	要素		
運 転 動 高 温 停 止	耐圧強化ベント系放射線モニタ	①主要パラメータの他チャンネル	①格納容器内水素濃度 (SA)	原子炉格納容器内の水素ガスが耐圧強化ベント系の配管内を通過することから、格納容器内水素濃度 (SA) により推定する。	
	フィルタ装置水素濃度				

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）			柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）			島根原子力発電所 2号炉			備考
(4) 残留熱除去系			(4) 残留熱除去系			(3) 残留熱除去系			
適用される原子炉の状態	主要パラメータ	代替パラメータ	適用される原子炉の状態	主要パラメータ	代替パラメータ	適用される原子炉の状態	主要パラメータ	代替パラメータ	
	要素	要素		要素	要素		要素	要素	
	推定方法	推定方法		推定方法	推定方法		推定方法	推定方法	
運転 起動 高温停止 低温停止 燃料交換 ※10	残留熱除去系熱交換器入口温度	①原子炉圧力容器温度およびサブプレッジョンプール水温度により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。	運転 起動 高温停止 低温停止 燃料交換 ※10	残留熱除去系熱交換器入口温度	①原子炉圧力容器温度、サブプレッジョン・チェンバープール水温度により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。	運転 起動 高温停止 低温停止 燃料交換 ※11	残留熱除去系熱交換器入口温度	①原子炉圧力容器温度(SA)、サブプレッジョンプール水温度(SA)により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。	【島根固有】 ・島根は、原子炉補機冷却系に系統流量を計測する装置を設置していない。
	残留熱除去系熱交換器出口温度	②原子炉補機冷却系系統流量および残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量		残留熱除去系熱交換器出口温度	②原子炉補機冷却系系統流量		残留熱除去系熱交換器出口温度	②残留熱除去系熱交換器冷却水流量	
残留熱除去系ポンプ出口流量	①圧力抑制室水位	水源である圧力抑制室水位の変化量により注水量を推定する。	残留熱除去系ポンプ出口流量	残留熱除去系ポンプ出口流量	①残留熱除去系ポンプ吐出力	残留熱除去系ポンプ流量	残留熱除去系ポンプ出口流量	①残留熱除去系ポンプ出口圧力	【女川との相違】 ・女川は、圧力抑制室水位を代替パラメータとして記載
	②残留熱除去系ポンプ出口圧力	残留熱除去系ポンプ出口圧力から残留熱除去系ポンプの注水特性を用いて、残留熱除去系ポンプ出口流量が確保されていることを推定する。		残留熱除去系ポンプ出口流量	②残留熱除去系ポンプ注水特性を用いて、残留熱除去系ポンプ出口流量が確保されていることを推定する。		残留熱除去系ポンプ出口流量	②残留熱除去系ポンプ注水特性を用いて、残留熱除去系ポンプ出口流量が確保されていることを推定する。	

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）	柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>※10：原子炉が次に示す状態となった場合は適用しない。</p> <p>（1）原子炉水位がオーバーフロー水位付近で、かつプールのゲートが開の場合</p> <p>（2）原子炉内から全燃料が取出され、かつプールのゲートが閉の場合</p>	<p>※10：原子炉が次に示す状態となった場合は適用しない。</p> <p>（1）原子炉水位がオーバーフロー水位付近で、かつプールのゲートが開の場合</p> <p>（2）原子炉内から全燃料が取出され、かつプールのゲートが閉の場合</p>	<p>※11：原子炉が次に示す状態となった場合は適用しない。</p> <p>（1）原子炉水位がオーバーフロー水位付近で、かつプールのゲートが開の場合</p> <p>（2）原子炉内から全燃料が取出され、かつプールのゲートが閉の場合</p>	

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
13. 格納容器バイパスの監視						
(1) 原子炉圧力容器内の状態						
適用される原子炉の状態	主要パラメータ	代替パラメータ		主要パラメータ	代替パラメータ	
	要素	要素	要素	要素	推定方法	
原子炉水位（広帯域）	①主要パラメータ の他チャンネル	原子炉水位（広帯域）の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。		原子炉水位（広帯域）	原子炉水位（広帯域）の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	
	②原子炉水位（SA広帯域）	原子炉水位（SA）により推定する。			原子炉水位（SA）により推定する。	
原子炉水位（燃料域）	①主要パラメータ の他チャンネル	原子炉水位（燃料域）の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。		原子炉水位（燃料域）	原子炉水位（燃料域）の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	
	②原子炉水位（SA燃料域）	原子炉水位（SA）により推定する。			原子炉水位（SA）により推定する。	
原子炉水位（SA広帯域）	①原子炉水位（広帯域）	原子炉水位（広帯域）により推定する。		原子炉水位（SA）	原子炉水位（広帯域）、原子炉水位（燃料域）により推定する。	
	②原子炉水位（燃料域）	原子炉水位（燃料域）により推定する。			原子炉水位（燃料域）により推定する。	
原子炉圧力（SA燃料域）	①主要パラメータ の他チャンネル	原子炉圧力の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。		原子炉圧力	原子炉圧力の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	
	②原子炉圧力（SA）	原子炉圧力（SA）により推定する。			原子炉圧力（SA）により推定する。	
原子炉圧力（SA燃料域）	①原子炉水位（燃料域）	原子炉水位（燃料域）により推定する。		原子炉圧力	原子炉圧力（SA）により推定する。	
	②原子炉圧力（SA燃料域）	原子炉圧力（SA）により推定する。			原子炉圧力（SA）により推定する。	
原子炉圧力	①主要パラメータ の他チャンネル	原子炉圧力の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。		原子炉圧力	原子炉圧力の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	
	②原子炉圧力（SA）	原子炉圧力（SA）により推定する。			原子炉圧力（SA）により推定する。	
運転	運転	運転	運転	運転	運転	運転
起動	起動	起動	起動	起動	起動	起動
高温停止	高温停止	高温停止	高温停止	高温停止	高温停止	高温停止

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
	<p>③原子炉水位（広帯域）</p> <p>③原子炉水位（燃料域）</p> <p>③原子炉水位（S A広帯域）</p> <p>③原子炉水位（S A燃料域）</p> <p>③原子炉圧力容器温度</p>	<p>原子炉水位から原子炉圧力容器内が飽和状態にあると想定することで、原子炉圧力容器温度より飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の圧力を推定する。</p> <p>原子炉圧力（SA）の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。</p> <p>原子炉圧力により推定する。</p>	<p>原子炉水位（広帯域）</p> <p>③原子炉水位（燃料域）</p> <p>③原子炉水位（SA）</p> <p>③原子炉圧力容器温度</p>	<p>飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の圧力を推定する。</p>	<p>③原子炉水位（広帯域）</p> <p>③原子炉水位（燃料域）</p> <p>③原子炉水位（S A）</p> <p>③原子炉圧力容器温度（SA）</p>	<p>【女川との相違】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は、主要パラメータの検出器を複数設置しており他チャンネルを代替パラメータとして記載
原子炉圧力（SA）	<p>②原子炉圧力</p> <p>③原子炉水位（広帯域）</p> <p>③原子炉水位（燃料域）</p> <p>③原子炉水位（S A広帯域）</p> <p>③原子炉水位（S A燃料域）</p> <p>③原子炉圧力容器温度</p>	<p>原子炉圧力により推定する。</p> <p>原子炉水位から原子炉圧力容器内が飽和状態にあると想定することで、原子炉圧力容器温度より飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の圧力を推定する。</p>	<p>原子炉圧力（広帯域）</p> <p>②原子炉水位（燃料域）</p> <p>②原子炉水位（SA）</p> <p>②原子炉圧力容器温度</p>	<p>原子炉圧力により推定する。</p> <p>飽和温度／圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の圧力を推定する。</p>	<p>①原子炉圧力</p> <p>②原子炉水位（広帯域）</p> <p>②原子炉水位（燃料域）</p> <p>②原子炉水位（S A）</p> <p>②原子炉圧力容器温度（SA）</p>	

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文案書の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）			柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）			島根原子力発電所 2号炉			備考						
(2) 格納容器内の状態				(2) 原子炉格納容器内の状態				(2) 格納容器内の状態							
適用される原子炉の状態	主要パラメータ	要素	代替パラメータ	要素	代替パラメータ	要素	代替パラメータ	要素	代替パラメータ	要素	代替パラメータ	要素	代替パラメータ	要素	代替パラメータ
	ドライウエ ル温度	① 主要パラメータ の他の検出器	ドライウエ ル温度	① 主要パラメータ の他の検出器	ドライウエ ル温度	① 主要パラメータ の他の検出器	ドライウエ ル温度	① 主要パラメータ の他の検出器	ドライウエ ル温度	① 主要パラメータ の他の検出器	ドライウエ ル温度	① 主要パラメータ の他の検出器	ドライウエ ル温度	① 主要パラメータ の他の検出器	ドライウエ ル温度
運転 起動 高温停止	② ドライウエ ル圧力	② ドライウエ ル圧力	② ドライウエ ル圧力	② ドライウエ ル圧力	② ドライウエ ル圧力	② ドライウエ ル圧力	② ドライウエ ル圧力	② ドライウエ ル圧力	② ドライウエ ル圧力	② ドライウエ ル圧力	② ドライウエ ル圧力	② ドライウエ ル圧力	② ドライウエ ル圧力	② ドライウエ ル圧力	② ドライウエ ル圧力
	③ [ドライウエ ル圧力]	③ [ドライウエ ル圧力]	③ [ドライウエ ル圧力]	③ [ドライウエ ル圧力]	③ [ドライウエ ル圧力]	③ [ドライウエ ル圧力]	③ [ドライウエ ル圧力]	③ [ドライウエ ル圧力]	③ [ドライウエ ル圧力]	③ [ドライウエ ル圧力]	③ [ドライウエ ル圧力]	③ [ドライウエ ル圧力]	③ [ドライウエ ル圧力]	③ [ドライウエ ル圧力]	③ [ドライウエ ル圧力]
監視可能であれば ドライウエ ル圧力 (常用計器)によ り、ドライウエ ル圧力を推定する。				監視可能であれば 格納容器内圧力 (D/W) (常用計器) により、圧力を推定 する。				監視可能であれば ドライウエ ル圧力 (常用計器)によ り、ドライウエ ル圧力を推定する。				監視可能であれば 格納容器内圧力 (D/W) (常用計器) により、圧力を推定 する。			
① 圧力抑制室圧力 より推定する。				① 格納容器内圧 力 (S/C)				① 格納容器内圧 力 (S/C)				① 主要パラメ ータの他チヤ ンネル			
② ドライウエ ル温度				② ドライウエ ル温度				② ドライウエ ル温度				② サプレッショ ンチェンバ ル圧力 (SA) によ り推定する。			
③ [ドライウエ ル圧力]				③ [格納容器圧力 (D/W)]				③ [格納容器圧力 (D/W)]				③ ドライウエ ル温度 (SA)			
① 圧力抑制室圧力 より推定する。				① 格納容器内圧 力 (S/C)				① 格納容器内圧 力 (S/C)				① 主要パラメ ータの他チヤ ンネル			
② ドライウエ ル温度				② ドライウエ ル温度				② ドライウエ ル温度				② サプレッショ ンチェンバ ル圧力 (SA) によ り推定する。			
③ [ドライウエ ル圧力]				③ [格納容器圧力 (D/W)]				③ [格納容器圧力 (D/W)]				③ ドライウエ ル温度 (SA)			
監視可能であれば ドライウエ ル圧力 (常用計器)によ り、ドライウエ ル圧力を推定する。				監視可能であれば 格納容器内圧力 (D/W) (常用計器) により、圧力を推定 する。				監視可能であれば 格納容器内圧力 (D/W) (常用計器) により、圧力を推定 する。				監視可能であれば 格納容器内圧力 (D/W) (常用計器) により、圧力を推定 する。			

【島根固有】

- 島根は、主要パラメータの検出器を複数設置しており主要パラメータの他チヤンネルを代替パラメータとして使用する。女川および柏崎は、代替パラメータとして常用計器を使用する。(下段に記載)

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）			柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）			島根原子力発電所 2号炉			備考
(3) 原子炉建屋内の状態									
適用される原子炉の状態	主要パラメータ	要素	代替パラメータ	要素	代替パラメータ	要素	主要パラメータ	要素	推定方法
	高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力	①原子炉圧力 ①原子炉圧力（SA）	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。	①原子炉圧力 ①原子炉圧力（SA）	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。	高圧炉心注水系ポンプ吐出圧力	①原子炉圧力 ①原子炉圧力（SA）	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。
運転起動高温停止	残留熱除去系ポンプ出口圧力	② [エリア放射線モニタ]	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。	② [エリア放射線モニタ]	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。	残留熱除去系ポンプ吐出圧力	①原子炉圧力 ①原子炉圧力（SA）	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。
	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力	② [エリア放射線モニタ]	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。	② [エリア放射線モニタ]	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力	①原子炉圧力 ①原子炉圧力（SA）	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。
(3) 原子炉建物内の状態									
適用される原子炉の状態	主要パラメータ	要素	代替パラメータ	要素	代替パラメータ	要素	主要パラメータ	要素	推定方法
	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力	①原子炉圧力 ①原子炉圧力（SA）	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。	①原子炉圧力 ①原子炉圧力（SA）	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力	①原子炉圧力 ①原子炉圧力（SA）	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。
運転起動高温停止	残留熱除去系ポンプ出口圧力	② [エリア放射線モニタ]	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。	② [エリア放射線モニタ]	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。	残留熱除去系ポンプ出口圧力	①原子炉圧力 ①原子炉圧力（SA）	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。
	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力	② [エリア放射線モニタ]	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。	② [エリア放射線モニタ]	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力	①原子炉圧力 ①原子炉圧力（SA）	原子炉圧力、原子炉圧力（SA）の低下により格納容器バイパスの発生を推定する。

【島根固有】
 ・島根は、「重大事故等対策の有効性評価」の格納容器バイパスの對象選定において、低圧設計部が3弁以上の弁で隔離される高圧炉心スプレイ系注入ラインは発生頻度が低いことから評価対象外としており、高圧炉心スプレイ系は監視不要としている。

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）			柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）			島根原子力発電所 2号炉			備考		
14. 水源の確保			14. 水源の確保			14. 水源の確保					
適用される原子炉の状態	主要パラメータ	代替パラメータ		適用される原子炉の状態	主要パラメータ	代替パラメータ		適用される原子炉の状態	主要パラメータ	代替パラメータ	
		要素	推定方法			要素	推定方法			要素	推定方法
運転 起動 高温停止 低温停止 燃料交換 ※11	復水貯蔵タンク水位	① 高圧代替注水系ポンプ出口流量	高圧代替注水系ポンプ出口流量、残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイン洗浄流量）	運転 起動 高温停止 低温停止 燃料交換 ※11	復水貯蔵タンク水位 (SA)	① 高圧代替注水系流量	復水貯蔵槽を水源とするポンプの注水量から、復水貯蔵槽水位 (SA) を推定する。なお、復水貯蔵槽の補給状況も考慮した上で水位を推定する。	運転 起動 高温停止 低温停止 燃料交換 ※12	低圧原子炉代替注水位	① 代替注水流量 (常設)	低圧原子炉代替注水槽を水源とする代替注水流量 (常設) から低圧原子炉代替注水槽水位を推定する。なお、低圧原子炉代替注水槽の補給状況も考慮した上で水位を推定する。
		① 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)、直 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量	① 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)、直 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量			① 復水補給水系流量 (RHR B 系代替注水流量)					
運転 起動 高温停止 低温停止 燃料交換 ※11	復水貯蔵タンク水位	① 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量	原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量、高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量および原子炉格納容器下部注水流量のうち、復水貯蔵タンクを水源として実際の機器動作状態にある流量により推定する。なお、復水貯蔵タンクの補給状況も考慮した上で水位を推定する。	運転 起動 高温停止 低温停止 燃料交換 ※11	復水貯蔵タンク水位 (SA)	① 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量	① 原子炉隔離時冷却系系統流量	運転 起動 高温停止 低温停止 燃料交換 ※12	低圧原子炉代替注水位	① 代替注水流量 (常設)	低圧原子炉代替注水槽を水源とする代替注水流量 (常設) から低圧原子炉代替注水槽水位を推定する。なお、低圧原子炉代替注水槽の補給状況も考慮した上で水位を推定する。
		① 高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量	① 高圧炉心注水系系統流量			① 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量)					

【女川との相違】

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文案書の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）	柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>② 高圧代替注水系ポンプ出口圧力</p> <p>② 直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力</p> <p>② 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力</p> <p>② 高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力</p> <p>② 復水移送ポンプ出口圧力</p>	<p>復水貯蔵タンクを水源とする高圧代替注水系ポンプ出口圧力、直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力、原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力、高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力および復水移送ポンプ出口圧力が正常に動作していることを把握することにより、水源である復水貯蔵タンク水位が確保されていることを推定する。</p>	<p>② 原子炉水位（広帯域）</p> <p>② 原子炉水位（燃料域）</p> <p>② 原子炉水位（SA）</p>	<p>・女川は、復水貯蔵タンクを水源とする機器の出口圧力も代替パラメータとして設定</p>
<p>③ 原子炉水位（広帯域）</p> <p>③ 原子炉水位（燃料域）</p> <p>③ 原子炉水位（SA 広帯域）</p> <p>③ 原子炉水位（SA 燃料域）</p>	<p>注水先の原子炉水位の変化量により復水貯蔵タンク水位を推定する。なお、復水貯蔵タンクの補給状況も考慮した上で水位を推定する。</p>	<p>② 原子炉水位（広帯域）</p> <p>② 原子炉水位（燃料域）</p> <p>② 原子炉水位（SA）</p> <p>② サプレッションプール水位（SA）</p>	<p>【島根固有】</p> <p>・島根は、サプレッションプール水位（SA）も代替パラメータとして設定</p>
		<p>注水先の原子炉水位またはサプレッションプール水位（SA）の水位変化により低圧原子炉代替注水槽水位を推定する。なお、低圧原子炉代替注水槽の補給状況も考慮した上で水位を推定する。</p> <p>② 低圧原子炉代替注水ポンプ出口圧力</p>	<p>注水先の原子炉水位またはサプレッションプール水位（SA）の水位変化により低圧原子炉代替注水槽水位を推定する。なお、低圧原子炉代替注水槽の補給状況も考慮した上で水位を推定する。</p> <p>② 低圧原子炉代替注水ポンプ出口圧力</p>
		<p>② 復水移送ポンプ吐出圧力</p>	<p>復水移送ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源である復水貯蔵タンク水位が確保されていることを推定する。</p>

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）	柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）	島根原子力発電所 2号炉	備考															
<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>監視可能であれば 復水貯蔵槽水位 （常用計器）によ り、水位を推定す る。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>③ [復水貯蔵槽水 位]</td> <td></td> </tr> </table> <p>※11：原子炉が次に示す状態となった場合は適用しない。 (1) 原子炉水位がオーバーフロー水位付近で、かつプールゲ ートが開の場合 (2) 原子炉内から全燃料が取出され、かつプールゲートが閉 の場合</p>						監視可能であれば 復水貯蔵槽水位 （常用計器）によ り、水位を推定す る。		③ [復水貯蔵槽水 位]		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>とにより、水源で ある低圧原子炉代 替注水槽水位が確 保されていること を推定する。</td> </tr> </table>			とにより、水源で ある低圧原子炉代 替注水槽水位が確 保されていること を推定する。	<p>【柏崎刈羽との相違】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柏崎は、常用計器を 代替パラメータとし て設定。 <p>・記載箇所の相違（島 根は、分割した表の 注記は最後にまとめ て記載）</p>
		監視可能であれば 復水貯蔵槽水位 （常用計器）によ り、水位を推定す る。																
	③ [復水貯蔵槽水 位]																	
		とにより、水源で ある低圧原子炉代 替注水槽水位が確 保されていること を推定する。																

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）			柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）			島根原子力発電所 2号炉			備考
適用される原子炉の状態	代替パラメータ		適用される原子炉の状態	代替パラメータ		適用される原子炉の状態	代替パラメータ		
	主要パラメータ	要素		主要パラメータ	要素		主要パラメータ	要素	
		①主要パラメータ の他チャンネル							【女川との相違】 ・女川は、主要パラメータの検出器を複数設置しており他チャンネルを代替パラメータとして記載
									【島根固有】 ・島根は高圧原子炉代替注水流量、原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量、原子炉心スプレイポンプ出口流量として使用する。
運転 起 高温停止	圧力抑制室 水位	②代替循環冷却ポンプ出口流量 ②残留熱除去系ポンプ出口流量 ②低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量	運転 起 高温停止	サブレーション ヨン・チェンバール水位	①復水補給水流量（RHR A 系代替注水流量） ①復水補給水流量（RHR B 系代替注水流量）と経過時間より算出した注水量から推定する。	運転 起 高温停止	サブレーション ヨン・チェンバール水位（SA）	①高圧原子炉代替注水流量 ①原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量 ①高圧炉心スプレイポンプ出口流量	【柏崎刈羽との相違】 ・柏崎は、復水補給水流量（RHR A 系代替注水流量）および復水補給水流量（RHR B 系代替注水流量）を代替パラメータとして設定
									【女川との相違】 ・女川はポンプの出口流量から水源水位が確保されている事を推定 【島根固有】 ・島根は、水源と注水先が同じとなるサブレーションプールを水源とした格納容器への注水量を水位の推定に使用しない。

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）	柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）	島根原子力発電所 2号炉	備考
<p>サブレーションチエンバのプール水を水源とする代替循環冷却ポンプ、残留熱除去系ポンプおよび低圧炉心スプレイ系ポンプの出口圧力から、これらのポンプが正常に動作していることを把握することにより水源であることを把握する。</p> <p>③代替循環冷却ポンプ出口圧力 ③残留熱除去系ポンプ出口圧力 ③低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力</p>	<p>復水移送ポンプ、残留熱除去系ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源であるサブレーション・チェンバ・プール水位が確保されていることを推定する。</p> <p>②復水移送ポンプ吐出圧力 ②残留熱除去系ポンプ吐出圧力</p> <p>③ [サブレーション・チェンバ・プール水位]</p>	<p>原子炉隔離時冷却系ポンプ、高圧炉心スプレイ系ポンプ、残留熱除去系ポンプ、低圧炉心スプレイ系ポンプ、残留熱代替除去ポンプが正常に動作していることを把握することにより、水源であるサブレーションポンプ出口圧力が確保されていることを推定する。</p> <p>②残留熱除去ポンプ出口圧力 ②低圧炉心スプレイポンプ出口圧力 ②残留熱代替除去ポンプ出口圧力</p> <p>③ [サブレーション・プール水位]</p>	<p>【島根固有】</p> <ul style="list-style-type: none"> 島根は、原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量および高圧炉心スプレイポンプ出口流量もサブレーションプールを水源として使用する。 <p>【柏崎刈羽との相違】</p> <ul style="list-style-type: none"> 柏崎は、復水移送ポンプも当該水源を使用
<p>※11：原子炉が次に示す状態となった場合は適用しない。</p> <p>(1) 原子炉水位がオーバーフロー水位付近で、かつプールゲートが開の場合</p> <p>(2) 原子炉内から全燃料が取出され、かつプールゲートが閉の場合</p>	<p>※12：原子炉が次に示す状態となった場合は適用しない。</p> <p>(1) 原子炉水位がオーバーフロー水位付近で、かつプールゲートが開の場合</p> <p>(2) 原子炉内から全燃料が取出され、かつプールゲートが閉の場合</p>	<p>・記載箇所の相違（柏崎は注記を上段に記載）</p>	

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
15. 原子炉建屋内の水素濃度						
適用される原子炉の状態	主要パラメータ 要素	代替パラメータ 要素	代替パラメータ 要素	代替パラメータ 要素	代替パラメータ 要素	
運転 起 高温停止 低温停止 燃料交換 ※12	①主要パラメータ の他チャンネル 原子炉建屋 内水素濃度 ※13	①主要パラメータ の他チャンネル 静的触媒式水素再 結合装置動作監視 装置（静的触媒式 水素再結合装置入 監視装置※14	①主要パラメータ の他チャンネル 原子炉建屋 内水素濃度 ※13	①主要パラメータ の他チャンネル 原子炉建屋 内水素濃度 ※14	①主要パラメータ の他チャンネル 原子炉建屋 内水素濃度 ※14	・島根は、出入口検出器に各々設備名称を設定
※12：原子炉が次に示す状態となった場合は適用しない。 （1）原子炉水位がオーバーフロー水位付近で、かつプールのゲートが開の場合 （2）原子炉内から全燃料が取出され、かつプールのゲートが閉の場合						
※13：「66-8-2 原子炉建屋内の水素濃度監視」において運転上の制限等を定める。 ※14：1チャンネルとは1個の静的触媒式水素再結合装置の出入口に設置している2個の静的触媒式水素再結合装置動作監視装置をいう。						
15. 原子炉建屋内の水素濃度						
適用される原子炉の状態	主要パラメータ 要素	代替パラメータ 要素	代替パラメータ 要素	代替パラメータ 要素	代替パラメータ 要素	
運転 起 高温停止 低温停止 燃料交換 ※13	①主要パラメータ の他チャンネル 原子炉建屋 内水素濃度 ※13	①主要パラメータ の他チャンネル 静的触媒式水素再 結合装置動作監視 装置（静的触媒式 水素再結合装置入 監視装置※14	①主要パラメータ の他チャンネル 原子炉建屋 内水素濃度 ※14	①主要パラメータ の他チャンネル 原子炉建屋 内水素濃度 ※14	①主要パラメータ の他チャンネル 原子炉建屋 内水素濃度 ※14	・島根は、出入口検出器に各々設備名称を設定
※13：原子炉が次に示す状態となった場合は適用しない。 （1）原子炉水位がオーバーフロー水位付近で、かつプールのゲートが開の場合 （2）原子炉内から全燃料が取出され、かつプールのゲートが閉の場合						
※14：「65-8-2 原子炉建屋内の水素濃度監視」において運転上の制限等を定める。						

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）			柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）			島根原子力発電所 2号炉			備考	
16. 格納容器内の酸素濃度			16. 原子炉格納容器内の酸素濃度			16. 格納容器内の酸素濃度			【島根固有】 島根は、既設の格納容器酸素濃度のうちB系を重大事故等対処設備として使用することから、A系は常用計器として後段に記載 【島根固有】 島根は、格納容器酸素濃度を計測する新設の重大事故等対処設備を設置する。	
適用される原子炉の状態	主要パラメータ	要素	代替パラメータ	要素	推定方法	適用される原子炉の状態	主要パラメータ	要素		推定方法
運転 起動 高温停止	格納容器内 酸素濃度	①主要パラメータ の他チャンネル により推定する。	格納容器内酸素濃度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	①主要パラメータ の他チャンネル	格納容器内酸素濃度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	運転 起動 高温停止	格納容器内 酸素濃度	①格納容器酸素濃度 (SA)	①格納容器酸素濃度 (SA) により推定する。	
		②格納容器内酸素濃度 (D/W)	格納容器内酸素濃度放射線レベル (D/W) 又は格納容器内酸素放射線レベル (S/C) にて炉心損傷を判断した後、初期酸素濃度と保守的なG値を入力とした評価結果(解析結果)により格納容器内酸素濃度を推定する。	②格納容器内酸素放射線レベル (D/W)	格納容器内酸素濃度放射線レベル (D/W) 又は格納容器内酸素放射線レベル (S/C) にて炉心損傷を判断した後、初期酸素濃度と保守的なG値を入力とした評価結果(解析結果)により格納容器内酸素濃度を推定する。			②格納容器内酸素濃度 (SA)	②格納容器内酸素濃度 (SA) により推定する。	
運転 起動 高温停止	格納容器内 酸素濃度	①主要パラメータ の他チャンネル により推定する。	格納容器内酸素濃度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	①主要パラメータ の他チャンネル	格納容器内酸素濃度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。	運転 起動 高温停止	格納容器内 酸素濃度	②格納容器内酸素濃度 (D/W)	②格納容器内酸素濃度 (D/W) 又は格納容器内酸素放射線レベル (S/C) にて炉心損傷を判断した後、初期酸素濃度と保守的なG値を入力とした評価結果(解析結果)により格納容器内酸素濃度を推定する。	
		②格納容器内酸素濃度 (S/C)	格納容器内酸素濃度放射線レベル (D/W) 又は格納容器内酸素放射線レベル (S/C) にて炉心損傷を判断した後、初期酸素濃度と保守的なG値を入力とした評価結果(解析結果)により格納容器内酸素濃度を推定する。	②格納容器内酸素放射線レベル (S/C)	格納容器内酸素濃度放射線レベル (D/W) 又は格納容器内酸素放射線レベル (S/C) にて炉心損傷を判断した後、初期酸素濃度と保守的なG値を入力とした評価結果(解析結果)により格納容器内酸素濃度を推定する。			②格納容器内酸素濃度 (SA)	②格納容器内酸素濃度 (SA) により推定する。	
運転 起動 高温停止	格納容器内 酸素濃度	②ドライウエル圧力	ドライウエル圧力および圧力抑制室圧力により格納容器内の圧力が正圧であることを確認することで、事故後の格納容器内への空気(酸素)の流入有無を把握し、水素燃焼の可能性を推定する。	②ドライウエル圧力	ドライウエル圧力および圧力抑制室圧力により格納容器内の圧力が正圧であることを確認することで、事故後の格納容器内への空気(酸素)の流入有無を把握し、水素燃焼の可能性を推定する。	運転 起動 高温停止	格納容器内 酸素濃度	②ドライウエル圧力 (SA) またはサブプレッション圧力 (SA) により、格納容器内圧力が正圧であることを確認することで、事故後の格納容器内への空気(酸素)の流入有無を把握し、水素燃焼の可能性を推定する。	②ドライウエル圧力 (SA) またはサブプレッション圧力 (SA) により、格納容器内圧力が正圧であることを確認することで、事故後の格納容器内への空気(酸素)の流入有無を把握し、水素燃焼の可能性を推定する。	
		②圧力抑制室圧力	圧力抑制室圧力により格納容器内の圧力が正圧であることを確認することで、事故後の格納容器内への空気(酸素)の流入有無を把握し、水素燃焼の可能性を推定する。	②圧力抑制室圧力 (SA)	圧力抑制室圧力により格納容器内の圧力が正圧であることを確認することで、事故後の格納容器内への空気(酸素)の流入有無を把握し、水素燃焼の可能性を推定する。			②圧力抑制室圧力 (SA)	②圧力抑制室圧力 (SA) により、格納容器内圧力が正圧であることを確認することで、事故後の格納容器内への空気(酸素)の流入有無を把握し、水素燃焼の可能性を推定する。	

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）	柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）	島根原子力発電所 2号炉	備考
		<p>③ [格納容器酸素濃度 (A系)]</p> <p>監視可能であれば格納容器酸素濃度 (A系) (常用計器) により、酸素濃度を推定する。</p> <p>①格納容器酸素濃度 (B系) により推定する。</p> <p>②格納容器雰囲気放射線モニタ (ドライウエール)</p> <p>②格納容器雰囲気放射線モニタ (サブレーション)</p> <p>②ドライウエル圧力 (SA)</p> <p>②サブレーションチェンバ圧力 (SA)</p>	<p>・島根は、既設の格納容器酸素濃度のうちB系を重大事故等対処設備として使用することから、A系は常用計器として記載</p> <p>【島根固有】</p> <p>・島根は、格納容器酸素濃度を計測する新設の重大事故等対処設備を設置する。</p>
		<p>格納容器酸素濃度 (SA)</p> <p>ドライウエル圧力 (SA) またはサブレーションチェンバ圧力 (SA) により、格納容器内圧力が正圧であることを確認すること、事故後の格納容器内への空気が (酸素) の流入有無を把握し、水素燃焼の可能性を推定する。</p> <p>③ [格納容器酸素濃度 (A系)]</p>	<p>監視可能であれば格納容器酸素濃度 (A系) (常用計器) により、酸素濃度を推定する。</p>

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）			柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）			島根原子力発電所 2号炉			備考
17. 使用済燃料プールの監視 ^{※15}			17. 使用済燃料プールの監視 ^{※15}			17. 燃料プールの監視 ^{※15}			
適用される原子炉の状態	主要パラメータ	代替パラメータ	適用される原子炉の状態	主要パラメータ	代替パラメータ	適用される原子炉の状態	主要パラメータ	代替パラメータ	
	要素	要素		要素	要素		要素	要素	推定方法
使用済燃料プールに照射された燃料を貯蔵している期間	① 使用済燃料プール水位／温度（ガイドパルス式）により、水位・温度を推定する。	使用済燃料プール水位	① 使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA）により、水位・温度を推定する。	使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA）	使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA）	① 燃料プール水位・温度（SA）により、燃料プール水位を推定する。	燃料プール水位・温度（SA）	燃料プール水位・温度（SA）により、燃料プール水位を推定する。	【女川との相違】 ・ 記載箇所の相違（島根の燃料プール水位（SA）は女川の使用済燃料プール水位／温度（ガイドパルス式）に相当） 【島根固有】 ・ 島根は、燃料プールの水位を計測する設備として設置 ・ 柏崎および女川は、燃料プールの水位および温度を計測する設備を設置 【島根固有】 ・ 島根は、燃料プール水位（SA）により、水位・温度を推定
	② 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ（高線量、低線量）により放射線量／水位の関係を利用し使用済燃料プール水位を推定するとともに使用済燃料プール監視カメラにて使用済燃料プールの状態を監視する。	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ（高線量、低線量） ② 使用済燃料プール監視カメラ	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ（高線量、低線量）により放射線量／水位の関係を ② 使用済燃料プール監視カメラ	② 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ（高線量・低線量）にて使用済燃料プールの水位を推定する。	放射線モニタ（高線量・低線量） ③ 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	放射線モニタ（高線量・低線量） ③ 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	② 燃料プールエリア放射線モニタ（高線量・低線量）（SA）にて燃料プール水位を推定する。 ③ 燃料プール監視カメラ（SA）により、燃料プールの状態を監視する。	燃料プールエリア放射線モニタ（高線量・低線量）（SA）にて燃料プールの水位を推定する。 燃料プール監視カメラ（SA）により、燃料プールの状態を監視する。	
使用済燃料プールに照射された燃料を貯蔵している期間	① 使用済燃料プール水位／温度（ガイドパルス式）により、水位・温度を推定する。	使用済燃料プール水位	① 使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA 広域）により、水位・温度を推定する。	使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA 広域）	使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA 広域）	① 燃料プール水位（SA）により、燃料プールの状態を監視する。	燃料プール水位（SA）	燃料プール水位（SA）により、燃料プールの状態を監視する。	【女川との相違】 ・ 女川は、使用済燃料プール上部空間放射線モニタによる水位の推定と使用済燃料プール監視カメラによる状態監視を組み合わせた推定手段としている。
	② 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ（高線量、低線量）により放射線量／水位の関係を利用し使用済燃料プール水位を推定するとともに使用済燃料プール監視カメラにて使用済燃料プールの状態を監視する。	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ（高線量、低線量） ② 使用済燃料プール監視カメラ	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ（高線量、低線量）により放射線量／水位の関係を ② 使用済燃料プール監視カメラ	② 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ（高線量・低線量）にて使用済燃料プールの水位を推定する。	放射線モニタ（高線量・低線量） ③ 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	放射線モニタ（高線量・低線量） ③ 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	① 燃料プール水位（SA）により、燃料プールの状態を監視する。 ② 燃料プール監視カメラ（SA）により、燃料プールの状態を監視する。	燃料プール水位（SA）により、燃料プールの状態を監視する。 燃料プール監視カメラ（SA）により、燃料プールの状態を監視する。	

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文案書の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
①使用済燃料プール水位／温度（ヒートサーモ式）	使用済燃料プール水位／温度（ヒートサーモ式）により、水位・温度を推定する。	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA広域）	使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA広域）、（SA）にて水位を測定した後、水位と放射線量率の関係により放射線量率を推定する。	①燃料プール水位（SA）	燃料プール水位（SA）、燃料プール水位・温度（SA）にて水位を計測した後、水位と放射線量率の関係により放射線量率を推定する。	【女川との相違】 ・女川は、使用済燃料プール上部空間放射線モニタによる水位の推定と使用済燃料プール監視カメラによる状態監視を組み合わせた推定手段としている。
②使用済燃料プール上部空間放射線モニタ（高線量、低線量）	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ（高線量、低線量）により放射線量／水位の関係を利用して使用済燃料プール水位を推定するとともに使用済燃料プール監視カメラにて使用済燃料プールの状態を監視する。	②使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	使用済燃料貯蔵プール監視カメラにより、使用済燃料プールの状態を監視する。	②燃料プール監視カメラ（SA）	燃料プール監視カメラ（SA）により、燃料プールの状態を監視する。	
①使用済燃料プール水位／温度（ヒートサーモ式）および使用済燃料プール水位／温度（ガイドパルス式）	使用済燃料プール水位／温度（ヒートサーモ式）にて水位を計測した後、水位と放射線量率の関係により放射線量率を推定する。	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA広域）	使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA広域）、（SA）にて水位を測定した後、水位と放射線量率の関係により放射線量率を推定する。	①燃料プール水位（SA）	燃料プール水位（SA）、燃料プール水位・温度（SA）にて水位を計測した後、水位と放射線量率の関係により放射線量率を推定する。	【島根固有】 ・島根は、燃料プールの水位を計測する設備を設置 ・柏崎および女川は、燃料プールの水位および温度を計測する設備を設置
②使用済燃料プール監視カメラ	使用済燃料プール監視カメラにより、使用済燃料プールの状態を監視する。	②使用済燃料貯蔵プール監視カメラ	使用済燃料貯蔵プール監視カメラにより、使用済燃料プールの状態を監視する。	②燃料プール監視カメラ（SA）	燃料プール監視カメラ（SA）により、燃料プールの状態を監視する。	

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
使用済燃料監視カメラ	①使用済燃料プール水位／温度（ヒートサーモ式） ①使用済燃料プール水位／温度（ヒートサーモ式） ①使用済燃料プール水位／温度（ヒートサーモ式） ①使用済燃料プール水位／温度（ヒートサーモ式）	使用済燃料貯蔵カメラ（使用済燃料貯蔵カメラ用空冷装置を含む）	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA広域） ①使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA）	燃料プール監視カメラ（燃料プール監視カメラ用冷却設備を含む。）	①燃料プール水位（SA） ①燃料プール水位・温度（SA） ①燃料プール水位・温度（SA）	<ul style="list-style-type: none"> 島根は、燃料プールの水位を計測する設備として設置 柏崎および女川は、燃料プールの水位および温度を計測する設備を設置 【女川との相違】 <ul style="list-style-type: none"> 記載箇所の相違（島根の燃料プール水位（SA）は女川の使用済燃料プール水位／温度（ガイドパルス式）に相当）
使用済燃料監視カメラ	使用済燃料プール水位／温度（ヒートサーモ式）、使用済燃料プール水位／温度（ガイドパルス式）および使用済燃料プール上部空間放射線モニタ（高線量、低線量）により使用済燃料プールの状態を推定する。	使用済燃料貯蔵カメラ（使用済燃料貯蔵カメラ用空冷装置を含む）	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA広域） ①使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA）	燃料プール監視カメラ（燃料プール監視カメラ用冷却設備を含む。）	①燃料プール水位（SA） ①燃料プール水位・温度（SA） ①燃料プール水位・温度（SA）	<ul style="list-style-type: none"> 島根は、燃料プールの水位を計測する設備として設置 柏崎および女川は、燃料プールの水位および温度を計測する設備を設置 【女川との相違】 <ul style="list-style-type: none"> 記載箇所の相違（島根の燃料プール水位（SA）は女川の使用済燃料プール水位／温度（ガイドパルス式）に相当）
使用済燃料監視カメラ	使用済燃料プール水位／温度（ヒートサーモ式）、使用済燃料プール水位／温度（ガイドパルス式）および使用済燃料プール上部空間放射線モニタ（高線量、低線量）により使用済燃料プールの状態を推定する。	使用済燃料貯蔵カメラ（使用済燃料貯蔵カメラ用空冷装置を含む）	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA広域） ①使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA）	燃料プール監視カメラ（燃料プール監視カメラ用冷却設備を含む。）	①燃料プール水位（SA） ①燃料プール水位・温度（SA） ①燃料プール水位・温度（SA）	<ul style="list-style-type: none"> 島根は、燃料プールの水位を計測する設備として設置 柏崎および女川は、燃料プールの水位および温度を計測する設備を設置 【女川との相違】 <ul style="list-style-type: none"> 記載箇所の相違（島根の燃料プール水位（SA）は女川の使用済燃料プール水位／温度（ガイドパルス式）に相当）
使用済燃料監視カメラ	使用済燃料プール水位／温度（ヒートサーモ式）、使用済燃料プール水位／温度（ガイドパルス式）および使用済燃料プール上部空間放射線モニタ（高線量、低線量）により使用済燃料プールの状態を推定する。	使用済燃料貯蔵カメラ（使用済燃料貯蔵カメラ用空冷装置を含む）	①使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA広域） ①使用済燃料貯蔵プール水位・温度（SA）	燃料プール監視カメラ（燃料プール監視カメラ用冷却設備を含む。）	①燃料プール水位（SA） ①燃料プール水位・温度（SA） ①燃料プール水位・温度（SA）	<ul style="list-style-type: none"> 島根は、燃料プールの水位を計測する設備として設置 柏崎および女川は、燃料プールの水位および温度を計測する設備を設置 【女川との相違】 <ul style="list-style-type: none"> 記載箇所の相違（島根の燃料プール水位（SA）は女川の使用済燃料プール水位／温度（ガイドパルス式）に相当）

※15：「66-9-3 使用済燃料プール監視設備」において運転上の制限等を定める。

※15：「65-9-3 燃料プール監視設備」において運転上の制限等を定める。

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文構成の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
(2) 確認事項						
項目	頻度	担当	項目	頻度	担当	
1. チャンネル校正を実施する。	定事検停止時	計測制御課長 または 電気課長	1. 動作不能でないことを指示により確認する。	1ヶ月に1回	当直長	
2. 動作不能でないことを指示により確認する。	1ヶ月に1回	発電課長 または 計測制御課長	2. チャンネル校正を実施する。	定事検停止時	課長 (計装)	【島根固有】 ・島根は、第1ベント フィルタ出口水素濃 度を計測する可搬型 重大事故等対処設備 を設置する。(記載方 法はPWRを踏襲)
※16：第1ベントフィルタ出口水素濃度を除く。						

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載表現、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文案書の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
(3) 要求される措置						
条件	要求される措置	完了時間	条件	要求される措置	完了時間	
A. 主要パラメータを計測する計器すべてが動作不能である場合	A1. 発電課長は、代替パラメータが動作可能であることを確認する。 および A2. 発電課長は、当該計器が故障状態であることが運転員に明確に分かるような措置を講じる。 および A3. 発電課長は、当該計器を動作可能な状態に復旧する。	速やかに 30日間	A. 主要パラメータを計測する計器すべてが動作不能である場合	A1. 当直長は、代替パラメータが動作可能であることを確認する。 および A2. 当直長は、当該計器が故障状態であることが運転員に明確に分かるような措置を講じる。 および A3. 当直長は、当該計器を動作可能な状態に復旧する。	速やかに 30日間	
B. 代替パラメータを計測する計器すべてが動作不能である場合	B1. 発電課長は、主要パラメータが動作可能であることを確認する。 および B2. 発電課長は、当該計器が故障状態であることが運転員に明確に分かるような措置を講じる。 および B3. 発電課長は、当該計器を動作可能な状態に復旧する。	速やかに 30日間	B. 代替パラメータを計測する計器すべてが動作不能である場合	B1. 当直長は、主要パラメータが動作可能であることを確認する。 および B2. 当直長は、当該計器が故障状態であることが運転員に明確に分かるような措置を講じる。 および B3. 当直長は、当該計器を動作可能な状態に復旧する。	速やかに 30日間	
C. 1つの機能を確認するすべての計器が動作不能である場合	C1. 発電課長は、当該機能の主要パラメータまたは代替パラメータを1段階以上動作可能な状態に復旧する。	3日間	C. 1つの機能を確認するすべての計器が動作不能である場合	C1. 当直長は、当該機能の主要パラメータまたは代替パラメータを1段階以上動作可能な状態に復旧する。	3日間	
D. 運転、起動または高温停止において条件A、BまたはCの措置を完了した時間内に達成できない場合	D1. 発電課長は、高温停止にする。 および D2. 発電課長は、冷温停止にする。	24時間 36時間	D. 運転、起動または高温停止において条件A、BまたはCの措置を完了した時間内に達成できない場合	D1. 当直長は、高温停止にする。 および D2. 当直長は、冷温停止にする。	24時間 36時間	

赤字：設備、運用等の相違（実質的な相違あり）
 緑字：記載整理、記載箇所、名称等の相違（実質的な相違なし、従前からの条文章法の相違等）
 下線：島根変更前（旧条文）からの変更箇所
 ○○：補正申請（2023.1.31）からの変更箇所

島根原子力発電所原子炉施設保安規定比較表

女川原子力発電所（2023.2.25 施行）		柏崎刈羽原子力発電所（2020.11.9 施行）		島根原子力発電所 2号炉		備考
E. 冷温停止、燃料交換において条件 A、B または C の措置を完了時間以内に達成できない場合	E1. 発電課長は、当該計器を動作可能な状態に復旧する措置を開始する。	E. 冷温停止、燃料交換において条件 A、B または C の措置を完了時間以内に達成できない場合	E 1. 当直長は、当該計器を動作可能な状態に復旧する措置を開始する。	E. 冷温停止、燃料交換において条件 A、B または C の措置を完了時間以内に達成できない場合	E1. 当直長は、当該計器を動作可能な状態に復旧する措置を開始する。	